

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語 科 目： 論理国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1～5組：尾崎）

使用教科書：（「論理国語」大修館書店）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
	単元 【第Ⅱ部】 1 自己と他者 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	・指導事項 筆者の発想のしかたや論の展開の特徴を読み取る。 ・教材「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B (1)ア〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	3
	単元 【第Ⅱ部】 1 自己と他者 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握していること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、対比の意図や具体例とまとめの関係を的確にとらえようとするとともに、「贈与」という行為の意義を読み取り、人間社会について考えを深めようとしていること。	・指導事項 対比の意図や具体例とまとめの関係を的確にとらえる。 ・教材「人はなぜ贈与するのか」 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。〔(1)エ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。…〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、対比の意図や具体例とまとめの関係を的確にとらえようとするとともに、「贈与」という行為の意義を読み取り、人間社会について考えを深めようとしている。	○	○	○	3
	単元 【第Ⅱ部】 1 自己と他者 【知識及び技能】 教材文の主旨を変えないように、相手に即した語彙・表現に書き換えていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、相手の予備知識に応じて情報を整理し、文章構成を工夫して、主旨を的確に伝えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 成果物を読み合い、学びの成果を言葉で表現しようとしていること。	・指導事項 相手に応じた適切な表現を選んで書く。 ・教材「相手を意識して書く」 ・一人1 台端末の活用 等		○		【知識・技能】 ・教材文の主旨を変えないように、相手に即した語彙・表現に書き換えている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、相手の予備知識に応じて情報を整理し、文章構成を工夫して、主旨を的確に伝えている。〔A (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・成果物を読み合い、学びの成果を言葉で表現しようとしている。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		○	○		1

1 学 期	単元【第Ⅱ部】3メディアの変容 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めていること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、実際の社会状況を意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしていること。	・指導事項 筆者の現状認識と問題意識を正確にとらえる。 ・教材「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、実際の社会状況を意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	3
	単元【第Ⅱ部】3メディアの変容 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈していること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしていること。	・指導事項 具体例と筆者の主張との関係を的確にとらえる。 ・教材「消費されるスポーツ」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	3
	単元【第Ⅱ部】3メディアの変容 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえていること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって、主張と根拠の関係を吟味しつつ、積極的に仮説の検証をしようとしていること。	・指導事項 仮説を立て、主張を支えるための根拠を探して検証する。 ・教材「仮説を立てて検証する」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 ・推論のしかたについて理解を深め使っている。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。〔A(1)イ〕 ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。〔A(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、主張と根拠の関係を吟味しつつ、積極的に仮説の検証をしようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○	○		1
	単元【第Ⅱ部】5政治と社会 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握していること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、筆者の問題意識を把握しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしていること。	・指導事項 筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。 ・教材「多数決を疑う」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、筆者の問題意識を把握しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	4

2 学 期	単元【第Ⅱ部】5政治と社会 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めていること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、対比的な概念や具体例の意図を押さえつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	・指導事項 対比的な概念や具体例の意図をとらえ、筆者の主張をつかむ。 ・教材「『である』ことと『する』こと」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料をもとに、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。〔B(1)キ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、対比的な概念や具体例の意図を押さえつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	6
	単元【第Ⅱ部】5政治と社会 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握していること。 【学びに向かう力、人間性等】 法令文を読み、その内容や形式について、積極的に批評したり討論したりすることをおして、その構成や展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしていること。	・指導事項 法例文の形式や表現、語句の特徴などについて理解を深める。 ・教材「民法の条文」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・法令文を読み、その内容や形式について、積極的に批評したり討論したりすることをおして、その構成や展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		○	○		1
	単元【第Ⅱ部】5政治と社会 【知識及び技能】 効果的な段落の構造について理解を深めていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、テーマをふまえながら集められた情報の考えや根拠などを整理していること。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで多面的・多角的にテーマについてとらえようとするとともに、自らの考えを明確にし伝えようとしていること。	・指導事項 異なる立場の主張について、共通点・相違点をつかむ。 ・教材「対立した意見をふまえて書く」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 ・効果的な段落の構造について理解を深めている。〔(1)エ〕 ・主張とその前提や反証などの関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【書くこと】 ・「書くこと」において、テーマをふまえながら集められた情報の考えや根拠などを整理している。〔A(1)ア〕 ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から考えを検討し主張を明確にしている。〔A(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで多面的・多角的にテーマについてとらえようとするとともに、自らの考えを明確にし伝えようとしている。	○	○	○	4
	単元【第Ⅱ部】2コミュニケーションの手段 【知識及び技能】 書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解していること。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めていること。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習課題に沿って、対比の構造をとらえて文章を書こうとしていること。	・指導事項 対比しながら論じることの効果を理解する。 ・教材「対比して論じる」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。〔(2)ア・イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。〔A(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、対比の構造をとらえて文章を書こうとしている。	○	○	○	3
	単元【第Ⅱ部】8歴史と時間 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めていること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、筆者の思索の流れに注目しつつ、積極的に自分の考えを深めようとしていること。	・指導事項 筆者の思索の流れや論の展開のしかたをとらえる。 ・教材「無常ということ」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、筆者の思索の流れに注目しつつ、積極的に自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	3

	単元【第Ⅱ部】8歴史と時間 【知識及び技能】 自由に意見を述べるときに求められる切り口（独自性）の重要性について理解を深めていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、書いた文章をまわりの生徒と読み合い、また自身の取り組みを振り返る活動をとおして、成果と課題を把握できていること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習活動に取り組む中で、自らの課題を把握し、その克服に努めようとしていること。	・指導事項 これまでの学習で身につけたことを用いて、自分の意見を書く。 ・教材「自由に考えを書く」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・自由に意見を述べるときに求められる切り口（独自性）の重要性について理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、書いた文章をまわりの生徒と読み合い、また自身の取り組みを振り返る活動をとおして、成果と課題を把握できている。〔A(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習活動に取り組む中で、自らの課題を把握し、その克服に努めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○			○	○		1
3 学期	単元【第Ⅱ部】8歴史と時間 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握していること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、具体例と分析・考察の関係を意識しつつ、粘り強く筆者の主張を押さえようとしていること。	・指導事項 具体例と分析・考察との関係をとらえる。 ・教材「日本文化の三つの時間」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体例と分析・考察の関係を意識しつつ、粘り強く筆者の主張を押さえようとしている。	○	○	○	4
	単元【第Ⅱ部】6存在への問い 【知識及び技能】 使用されている語句の定義を確認しつつ理解を深めていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、内容・構成を的確にとらえ、筆者の意図と考えられることとの関係をとらえていること。 【学びに向かう力、人間性等】 従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしていること。	・指導事項 具体的な説明と抽象論との関係をとらえる。 ・教材「日常に走る亀裂」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・使用されている語句の定義を確認しつつ理解を深めている。〔(1)イ〕 ・文や文章の接続の仕方や構成をとらえ、論の形式について理解を深めている。〔(1)ウ、エ〕 ・情報どうしの関係づけのしかたについて理解している。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容・構成を的確にとらえ、筆者の意図と考えられることとの関係をとらえている。〔B(1)イ、エ〕 ・「読むこと」において、筆者の思考をふまえて、既存の知識や経験を基に自分の考えを深められている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしている。	○	○	○	4
	単元【第Ⅱ部】6存在への問い 【知識及び技能】 一般的な類義関係の語による言い換え、本文での関連づけによる言い換える関係を的確に把握すること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、前半と後半の役割の違いを利用して本文の内容理解に生かすこと。 【学びに向かう力、人間性等】 ことばと世界との関わり、を引用を交じえ異なる側面から検討する論の展開を粘り強く追い、理解しようとしていること。	・指導事項 筆者の論の展開のしかたや、表現のしかたに注意して読む。 ・教材「言語と他者」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・一般的な類義関係の語による言い換え、本文での関連づけによる言い換える関係を的確に把握する。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、前半と後半の役割の違いを利用して本文の内容理解に生かす。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、本文で示される複数の言語の側面をとらえ、自分自身の言語に対する考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ことばと世界との関わり、を引用を交じえ異なる側面から検討する論の展開を粘り強く追い、理解しようとしている。	○	○	○	4
	単元【第Ⅱ部】6存在への問い 【知識及び技能】 文章中の項目立てをしながら、それについての段落内・文章内での配置をすることについて理解していること。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、反論の想定をしながら自分の考えを見直し、的確に伝わる文章になるように工夫していること。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマの掘り下げ方、分析、考察の深め方を誠実に学ぼうとしていること。	・指導事項 テーマを具体化・焦点化し、掘り下げる。 ・教材「テーマの具体化・焦点化」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・文章中の項目立てをしながら、それについての段落内・文章内での配置をすることについて理解している。〔(1)ウ、エ〕 ・情報の抽象度によって階層化し、推論することについて理解している。〔(2)イ、ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、反論の想定をしながら自分の考えを見直し、的確に伝わる文章になるように工夫している。〔A(1)ウ、エ、オ〕 【主体的に学習に向かう態度】 ・テーマの掘り下げ方、分析、考察の深め方を誠実に学ぼうとしている。	○	○	○	4
合計											70

高等学校 令和7年度（3学年用）

教科 国語

科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：金子 ） （2組：金子 ） （3組：佐藤 ） （4組：佐藤 ） （5組：佐藤 ）

使用教科書：（「高等学校 精選 古典探究」第一学習社 ）

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
	単元 【第Ⅱ部】説話（二） 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって説話を読み、登場人物の言動に対する自分の考えを積極的に伝え合おうとしていること。	・指導事項 説話に取り上げられた人物の論理と行動を読み解き、編者が語り伝えようとした価値について考察する。 ・教材「発心集」「十訓抄」「宇治拾遺物語」 ・一人1 台端末の活用、教科書、ワークシート 等				【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。（(2)イ） 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。（A(1)イ） ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。（A(1)カ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって説話を読み、登場人物の言動に対する自分の考えを積極的に伝え合おうとしている。	○	○	○	6
	単元 【第Ⅱ部】逸話 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に逸話を読み、逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えようとしていること。	・指導事項 逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・教材「不顧後患・不若人有其宝・不死之道」 ・一人1 台端末の活用、教科書、ワークシート 等				【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。（(2)ア） ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。（(2)イ） 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。（A(1)ウ） ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。（A(1)カ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に逸話を読み、逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		○	○		1

1 学 期	単元【第Ⅱ部】随筆（三） 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって日記的な随筆の章段を読み、進んで登場人物同士の関係性を読み解こうとしていること。	・指導事項 日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。 ・教材「枕草子」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等			○	【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。（(2)ア） ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。（(2)イ） 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（(1)ア） ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。（A(1)イ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって日記的な随筆の章段を読み、進んで登場人物同士の関係性を読み解こうとしている。 ・本文の背景にある宮廷生活の様子を積極的に理解し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	○	○	○	4
	単元【第Ⅱ部】漢詩の鑑賞 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めていること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 全体の構成に留意しつつ、詩にこめられた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを進んで読み取ろうとしていること。	・指導事項 構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを読み取る。 ・教材「古体の詩」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等			○	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。（(1)イ） ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。（(1)エ） ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。（(2)ア） ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。（(2)イ） 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。（A(1)イ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・全体の構成に留意しつつ、詩にこめられた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを進んで読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	単元【第Ⅱ部】物語（五） 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしていること。	・指導事項 歴史物語の列伝に記載されたさまざまなエピソードを読んで、歴史に残された人々の姿に触れる。 ・教材「大鏡」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等			○	【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。（(1)ウ） ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。（(2)ア） ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。（(2)イ） 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。（A(1)イ） ・必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。（A(1)ウ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしている。 ・本文の叙述をふまえて、粘り強く書き手の考えや意図を捉えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		○	○		1

	単元【第Ⅱ部】史記の群像 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に史伝を読み、内容を理解し、史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えようとしていること。	・指導事項 史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・教材「史記」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等			○	【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。（(2)ア） ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。（(2)イ） 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。（A(1)ウ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に史伝を読み、内容を理解し、史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○			○	○		1
	単元【第Ⅱ部】物語（四） 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしていること。	・指導事項 長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。 ・教材「源氏物語」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等			○	【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。（(2)ア） ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。（(2)イ） 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。（A(1)イ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしている。 ・学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘	○	○	○	13
	定期考査			○			○	○		1
	単元【第Ⅱ部】諸家の文章 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に文章を読んで、書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価しようとしていること。	・指導事項 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・教材「医薬談笑・賢母辞拾遺・売柑者言」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等			○	【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。（(2)ア） ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。（(2)イ） 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。（A(1)ウ） ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。（A(1)カ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に文章を読んで、書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○			○	○		1
										合計
										70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 地理探究

教 科： 地理歴史 科 目： 地理探究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 2 組～ 3 組

教科担当者：（2～3組： 安部 ）

使用教科書：（ 地理探究 二宮書店 ）

教科 地歴公民 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地形や気候など地理的な基本的知識を身に付け、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	基本的な知識を生かし、地理的な視点を持つことで産業（農業・工業）への活用を考察出来るようにする。また国際的な視野を育成し、各国、各地の特色を生かした多国間での連携にどう生かすかをグループでの議論や各人の発表を通じて、幅広い知識とともにプレゼンテーション能力も養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 世界に関する諸事象の規則性、傾向性や人間による利用などについて理解する。 2．気候と生態系 気候と生態系に関わる諸事象の規則性、傾向性や気候の地域性について理解する。 大気位の大循環のしくみや影響について考察する。	①地形世界の地形と地形をつくる力②プレート運動が地形に及ぼす影響③地震と火山④造山運動と世界の陸地⑤火山がつくり出す地形⑥海岸にみられる地形⑦さまざまな環境で形成される地形 ①水の循環と利用②大気の大循環と気候③植生と土壌	【知識・技能】 地形がもつ特徴について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地形を生かした生活の工夫や独自の文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形が持つ特徴について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	8
	3．世界の気候区分 ケッペンの気候区分をもとに、世界の分布状況を把握し、気候要素（気温・降水量・風）が地域によって異なる現象が生じる原因を考察する。	④各気候区地域の生活	【知識・技能】 地球上における気候の違いと、それによって生まれた異なる景観について、グラフ・地図や写真、雨温図の読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 気温や降水量の違いが生じるメカニズムを、緯度ごとの太陽からうける熱量の違いや地球全体の大気の流れなどの要因から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 植生・土壌の特徴、各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 気温や降水量の違いが与える地域への影響や、生活様式や産業にもたらす変化について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	4．日本の自然災害と防災 災害のリスクが高い国日本において、予見される災害についての課題を学び、防災意識を高める。 5．地球環境問題 世界で起こっている気象や地殻変動による様々な環境問題について理解し、課題と対策を考察する。	③地震や津波、豪雨災害など、近年国内で多発する問題の理解と対策 ①環境問題に関する大観 ②地球温暖化の現状と対策	【知識・技能】 世界で起こっているさまざまな環境問題を知る。地球温暖化の基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 さまざまな環境問題の原因を理解したうえで、人間生活にどのような影響があるか、どのような対策があるかを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境問題への対策として、一人一人が実践できる身近な取り組みをしようとする姿勢がみられる。	○	○	○	7

	第2章 1. 農林水産業 世界で展開されている農業の種類について、気候の違いによる農業、政治体制の違いによる農業、経済の発達段階の違いによる農業などを学び、日本農業の将来についても考察する。	①農業の諸条件 ②社会の発展と農業の変化 ③グローバル化・技術革新と農業	【知識・技能】 世界の農業の違いについて、基礎知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 経済の発達段階に伴う農業の違いを学び、その変化する過程について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 食料自給率の低い日本の農業について、日本農業の将来と、輸入農作物に依存する現状の危険性と対策を自らの課題ととらえる。	○	○	○	6
	2. 資源エネルギー問題 世界に分布する様々な資源について学ぶ、中でもエネルギー資源となる化石燃料の枯渇問題や地球温暖化につながる問題を考える。 資源の乏しい日本にとって、発電方法に伴う様々な問題を知り、いずれの発電方法にも残されている課題から、今後の日本が進むべき方向性を探る。 3. 工業 様々な工業が立地する条件の違いを学ぶ。資源依存型、労働者依存型、資本依存型など、どのような条件で立地する工業に違いがでるのかを考える。 日本の工業を代表する自動車工業特徴と変遷を、国内生産と海外生産の違いなどを知る。 国際的分業が進み、サプライチェーンを確立させるメリットを考察する。	①資源に乏しい日本のエネルギー問題の現状と対策 ②電力の供給方法について ③クリーンエネルギーと化石燃料、原子力エネルギーの違いと課題 ①社会の発展と世界の工業化 ②工業の立地 ③工業地域の形成と変化 ④自動車工業の特徴と日本の海外生産 ⑤国際分業の進展の多国籍企業 ⑥工業生産のグローバル化に伴う諸課題	【知識・技能】 資源の乏しい日本が、海外に依存している現状を理解する。世界各地で発達する工業の種類について、基礎的な知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 化石燃料の枯渇、化石燃料の利用に伴う地球温暖化問題、代替エネルギーとしてクリーンエネルギーの過重な初期投資と発電量不足の問題、原子力エネルギー利用のメリットとリスクについて考察し、日本が選ぶべきエネルギー対策を検討する。様々な工業が発達する地域の特徴や違いについて、その要因を考察する。世界各国の特徴や強みを理解し、国際的に分業が進むことのメリットについて調査する。日本工業の変遷に興味を持たせ、意欲的に調べる姿勢を身に付ける。人口が減少し、経済成長が停滞している過渡期を迎えた日本の工業について、将来について考えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギー問題を身近な問題と捉え、とるべき対策を考え実行する姿勢を身に付ける。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	第3章. 人・モノ・金のつながり 1. 交通・通信 目覚ましい発達をする交通、通信により、短縮している世界について理解する。 2. 貿易・観光 世界各地で連携を深め、貿易を進展させる協定について学ぶ。 インバウンドを増やして、観光立国を目指す日本の政策について考察する。	①世界を結ぶ交通 ②世界を結ぶ通信 ①世界を結ぶ貿易 ②世界と日本の貿易とその課題 ③世界を結ぶ観光とその課題	【知識・技能】 交通網の発達と交通の効率化を図るための空港のハブ化について、また急速なインターネットの発達に伴う情報交換の利便性について知識を身に付ける。 各国が輸出している特産品について知る。 【思考・判断・表現】 交通手段や通信手段の発達に伴い、新たにどのような課題が生じるか考察する。 各国がどのようなものを輸出しているのかを調べ、その国の特徴や経済状況を学ぶ。 衰退する日本経済の収入源として、観光立国を目指し、インバウンドを増やす政策について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 交通・通信手段の発達を身近なところから実感し、学びにつなげる。高校生の立場で、外国人観光客を呼び込むための政策を考える。	○	○	○	8
	第4章 人口・村落・都市 1. 人口 人口爆発を起こしている発展途上地域、人口減少に伴う少子高齢化問題に直面する日本を初めとした先進国、それぞれが抱える課題について考察する。 2. 村落・都市	①人口の推移と分布 ②人口構成と人口転換 ③人口移動 ④人口増加地域 ①集落の成り立ちと機能 ②都市の成り立ちと機能	【知識・技能】 経済状況の異なる国によって抱える人口問題について理解する。 【思考・判断・表現】 人口ピラミッドの形状による人口構成の読解、ピラミッドの形状の変化から推察される国家の経済成長など、様々な資料から読み取る力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本が抱える人口問題について、少子高齢化の進展について、未来を担う高校生が自身の取り組みについて考える姿勢を身に付ける。	○	○	○	3

2 学 期	第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 1. 現代世界の地域区分	①地域区分の目的と方法 ②さまざまな地域区分 ③考察方法	【知識・技能】 中国の改革開放とはどのようなことか、経済成長を続ける中国の産業の特徴を学ぶ。地域によって異なる農業の形態や、経済特区を中心に発達する工業の特徴を知る。 【思考・判断・表現】 中国の農業形態の違いや地域的な分布、農業と食文化の関連性について、工業の発展と生活の変化、さまざまな工業の立地の特徴について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中国の経済発展が、隣国で起きていることを認識し、自国日本への影響を身近なこととして課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	2. 朝鮮半島 3. 東南アジア 4. 南アジア 5. 西アジア・中央アジア 日本と同じアジアに位置する国々の産業を学び、経済の発達状況と、他地域の国々との経済連携について学ぶ。 また、多様な民族文化に興味を持ち、日本とのつながりについても考える。	①アジア各地の自然環境と農業・食文化 ②アジア各地の工業の発展 ③アジア各地の多様な民族文化 ④アジア各地のの成り立ちと多様な民族文化 ⑤アジア地域内外の経済関係と文化のつながり	【知識・技能】 アジア各地域の農業や工業など産業が発達し、近年目覚ましい経済成長を遂げていることを学ぶ。 【思考・判断・表現】 発展途上とされてきたアジア各地の経済成長に伴い、日本や他の地域に対しても高まる影響力について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア各国の経済発展を、アジアのリーダーシップをとるべき日本の国民として、隣国に関心を示し、課題意識を高め意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	7
	6. 北アフリカ・サブサハラアフリカ アフリカ食の産業を学び、経済の発達状況と、他地域の国々との経済連携について学ぶ。 また、多様な民族文化に興味を持ち、日本とのつながりについても考える。	①自然環境と農業 ②歴史と文化 ③産業と経済発展 ④地域紛争と国際関係	【知識・技能】 アフリカ各国の農業や工業など産業について、発達を遂げている分野と滞る分野について、背景にある民族紛争や政治的対立などを学ぶ。 【思考・判断・表現】 アフリカ各国の農業や工業など産業について、発達を遂げている分野と滞る分野について、背景にある民族紛争や政治的対立などを考察する。また日本との連携についても関心を持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本にとって遠い国のアフリカにも目を向け、日本との課題意識を高め意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	7
	7. ヨーロッパ 8. ロシア	①統合するヨーロッパ ②統合の背景としての民族・文化 ③自然と農業の地域性と共通農業政策 ④エネルギー資源開発と工業 ⑤世界と結び付く貿易	【知識・技能】 ヨーロッパの多様な民族の違いについて理解を深める。 ヨーロッパ各国で発達する農業や工業など産業について、自然環境と関連付けて考える。 【思考・判断・表現】 ロシアを含むヨーロッパ各国が貿易などをもとに世界との結びつきを考える。 日本との結びつくにおいて互惠関係を築くヨーロッパへの関心を強める、 【主体的に学習に取り組む態度】 ロシアのウクライナ侵攻など、リアルタイムな問題にも触れ、関心を深めていく。各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

3 学 期	9. アングロアメリカ 10. ラテンアメリカ アングロアメリカ・ラテンアメリカの国家の成り立ちについて、民族を元にして考える。移民による多民族国家のアメリカ合衆国や、原住民とヨーロッパからの移民からなり、混血が進み多様性が増しているラテンアメリカの社会を探索。 南北アメリカ大陸各国の特徴を、自然環境・民族・文化・産業・貿易の観点から学ぶ。 気候や土壌など自然環境と農業、エネルギー資源と工業の発達、各国の特産品と貿易による世界との結びつきを考察する。	①多様な自然環境と農業 ②多民族国家のアメリカ合衆国の多様な社会 ③ラテンアメリカの混血が進む社会。 ④エネルギー資源開発と工業 ⑤地域内外の政治的・経済的関係	【知識・技能】 世界をリードするアメリカ合衆国の国家の成り立ちを歴史的観点から探る。南北アメリカの多様な民族の違いについて理解を深める。 南北アメリカそれぞれで発達する農業や工業など産業について、自然環境と関連付けて考える。 【思考・判断・表現】 豊富な資源や発達する工業、企業的に発展を遂げる農業など、経済的にも貿易面でも世界をリードしするアメリカ合衆国と、世界との結びつきを考える。 日本との結びつきにおいて互恵関係を築くアメリカへの関心を強める、 【主体的に学習に取り組む態度】 アメリカ合衆国を中心とする資本主義国家の経済的連携、NATOを中心とした軍事同盟が、ロシアをはじめとした対立関係にある国々との緊張など、社会状況において解決が求められる課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	8
	11. オーストラリア 12. ニュージーランド 豊かな自然環境の中で展開される農牧業や、豊富な鉱産資源を採掘し世界に流通させているオーストラリアの貿易について探る。 比較的日本にも近く、緊密な関係を深めていく日本とオーストラリアの今後についても関心を持ち、考察を深めていく。	①自然と農牧業・鉱工業 ②多文化主義の社会と大都市の発達 ③世界との結びつき ④オセアニアの中のニュージーランド	【知識・技能】 オーストラリア建国や経済発展のきっかけとなったゴールドラッシュなど、歴史的な背景を深く探る。 豊かな自然を背景にオーストラリアで発達する農牧業や鉱工業について理解を深める。 【思考・判断・表現】 牧畜の変遷をその要因から考察して、日本をはじめ、世界に流通する畜産品について調べる。 豊富な地下資源がありながら自国の工業の発達よりも資源の輸出に重点を置く理由などを考察する。はじめや発達する工業、企業的に発展を遂げる農業など、経済的にも貿易面でも世界をリードしするアメリカ合衆国と、世界との結びつきを考える。 日本との結びつきにおいて互恵関係を築くアメリカへの関心を強める。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本とは距離的に近く、産業面でも経済面でも貿易を通じて深い関係を築いている。また軍事的にも日本と連携を深め、中国の海洋進出に警戒感を示す現代の状況についても、関心を持つ。	○	○	○	10
	第3編 現代世界におけるこれからの日本の国土像 1. 現代日本の求められる国土像	①2025年の日本の姿②テーマ学習 ③国土像の探究	【知識・技能】 国際社会における今日の日本の姿についての知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 今日の世界情勢を鑑み、世界から期待されている日本の役割について考察し、政治・経済・貿易など様々な分野において日本が果たすべき役割について思考して、発表していく。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本が果たすべき役割を理解し、国民としての自身ができること、取り組むべき課題を主体的に考察する姿勢を身に付ける。	○	○	○	6
							合計
							105

高等学校

令和7年度（3 学年用）

教科

地理歴史

科目

日本史探究

教 科：

地理歴史

科 目：

日本史探究

単位数：

単位

3 単位

対象学年組：

第 3 学年

1 組～

3 組

教科担当者：

（ 1 組～ 3 組：

永田 義秋 ）

使用教科書：

（ 高校日本史 山川出版社

）

教科

地理歴史

の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 原始・古代 【知識及び技能】 旧石器時代～推古朝期までの歴史について中国大陸・朝鮮半島との関係や自然環境の変化に着目して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 考古学上の知見や歴史的文献を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、黎明期の日本の歴史についての課題を主体的に追究する。	・指導事項 1 日本文化のあけぼの 2 古墳とヤマト政権 ・教材 教科書 ワークシート 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・旧石器時代～推古朝期までの歴史について中国大陸・朝鮮半島との関係や自然環境の変化に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 ・考古学上の知見や歴史的文献を多面的・多角的に考察し、自分の意見が表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、黎明期の日本の歴史についての課題を主体的に追究している。	○	○	○	7
	2 古代 【知識及び技能】 大化の改新以降律令国家が成立発展し平安京における摂関政治に至る歴史を東アジアの変動を踏ま理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を収集して分析し、古代国家の特色について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 律令国家の成立から摂関政治までの社会の変化を考察することを通じて、日本の独自性について主体的に追究させる。	・指導事項 1 律令国家の形成 2 貴族政治の展開 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・大化の改新以降律令国家が成立発展し平安京における摂関政治に至る歴史を東アジアの変動を踏ま理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸資料を収集して分析し、古代国家の特色について、多面的・多角的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・律令国家の成立から摂関政治までの社会の変化を考察することを通じて、日本の独自性について主体的に追究している。	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1
	3 中世 【知識及び技能】 荘園の誕生から武士の勃興、鎌倉、室町幕府の展開について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究させる。	・指導事項 1 院政と武士の進出 2 武家政権の成立 3 武家社会の成長 ・教材 教科書 ワークシート 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・荘園の誕生から武士の勃興、鎌倉、室町幕府の展開について理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世への国家・社会の変容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究している。	○	○	○	11
	D 近世 【知識及び技能】 織豊政権から江戸幕府成立までの経緯と江戸幕府の展開、動揺についての歴史を世界と関連付けて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 幕藩体制の社会構造と鎖国下の日本を取り巻く国際情勢を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 安土桃山時代、江戸時代の諸課題を見出し、主体的に追究させる。	・指導事項 1 近世の幕開け 2 幕藩体制の成立と展開 3 幕藩体制の動揺 ・教材 教科書 ワークシート 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・織豊政権から江戸幕府成立までの経緯と江戸幕府の展開、動揺についての歴史を世界と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・幕藩体制の社会構造と鎖国下の日本を取り巻く国際情勢を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安土桃山時代、江戸時代の諸課題を見出し、主体的に追究できる。	○	○	○	11
	定期考查			○	○		1

2 学 期	4 近代 【知識及び技能】 幕藩体制の崩壊から明治新政府の成立、その後の第一次世界大戦までの日本の政治、外交、文化について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 幕末から明治、大正時代の社会の変化を欧米・アジア諸地域との関連付け、諸資料から情報を読み取って理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 近代国家成立に伴う様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究させる。	・指導事項 1 近世から近代へ 2 近代国家の成立 3 近代国家の展開と国際関係 ・教材 教科書 ワークシート 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・幕藩体制の崩壊から明治新政府の成立、その後の第一次世界大戦までの日本の政治、外交、文化について理解している。 【思考・判断・表現】 ・幕末から明治、大正時代の社会の変化を欧米・アジア諸地域との関連付け、諸資料から情報を読み取って理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・近代国家成立に伴う様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究できる。	○	○	○	20
	定期考查			○	○		1
	4 近代 【知識及び技能】 戦間期の国際協調体制から第二次世界大戦にいたる経緯について世界の動きと関連付けて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 当時の社会が抱えた矛盾と対外政策、軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 大正、昭和前期の日本政府の対応を考察することを通じて、主体的に諸課題を追究させる。	・指導事項 1 近代の産業と生活 2 恐慌と第二次世界大戦 ・教材 教科書 ワークシート 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 戦間期の国際協調体制から第二次世界大戦にいたる経緯について世界の動きと関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 当時の社会が抱えた矛盾と対外政策、軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大正、昭和前期の日本政府の対応を考察することを通じて、主体的に諸課題を追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考查			○	○		1
3 学 期	5 現代 【知識及び技能】 敗戦からの高度経済成長、冷静終結までの戦後の日本の歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、課題を見出して主体的に追究させる。	・指導事項 現代の世界と日本 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・敗戦からの高度経済成長、冷静終結までの戦後の日本の歴史を理解している。 【思考・判断・表現】 ・冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、課題を見出して主体的に追究している。	○	○	○	24
							合計
							105

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地歴公民科 科目 世界史探究

教科： 地歴公民科 科目： 世界史探究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組～ 5 組

教科担当者：（4・5組：山崎祐

使用教科書：（ 高校世界史（山川出版社）

教科 地歴公民科 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	世界史へのまなざし① 【知識及び技能】 ・自然環境と人々の関係を視点にして、人類の歴史を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球の歴史と人類の歴史の関係や特性を多面的・多角的に考察し、地球の歴史における人類の歴史における位置づけとその特性を理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	・指導事項 ①自然環境と人類の進化 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・地球の歴史における人類の歴史における位置づけとその特性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球の歴史と人類の歴史を比較し、人類の歴史における位置づけとその特性を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	1
	世界史へのまなざし② 【知識及び技能】 ・日常生活からみる世界の歴史という観点から、特に世界各地の料理に注目し、その歴史的背景について理解している。 ・教育や余暇の観点からミュージアムの来歴について理解している。 ・日常生活と世界史のつながりという観点から、家族の歴史について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イタリア、中国、日本の料理について、その特色について考察し、生徒が日常食している各国の料理には、歴史的な背景があることを理解し表現している。 ・生徒各自が印象に残っているミュージアムを紹介しあうことで、その娯楽的要素と教育的要素について理解し表現している。 ・「子どもという存在」「近代的家族と男女の役割分担」「日本の家族」「これからの家族」について考察し、世界史のなかでの「家族」の多様性について理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	・指導事項 ①料理からみるせかいのつながり ②ミュージアムの歴史 ③家族の歴史 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	世界史へのまなざし② 【知識及び技能】 ・日本料理と総称される料理に関して、世界的に注目されている理由や、他国と比べた時の独自性について理解している。 ・ミュージアムの娯楽的要素と教育的要素の両面性を理解している。 ・家族についての考え方は、各時代の社会や経済と関連しており、変化してきたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イタリア料理・中国料理という言葉について、なぜ自国の人々はそう呼ばないかについて、多面的・多角的に考察し、説明している。 ・イタリア料理・中国料理ともに、世界的に広まっていった背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・各生徒が印象に残っているミュージアムと来館の目的を紹介しあうことで、その娯楽的要素と教育的要素について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・男女間の平等や多様な性のあり方など、現代社会の課題に着目して、これからの家族のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	2

文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 ・古代オリエント文明やエーゲ文明、南・東アジア、アメリカ大陸の神権政治の共通点や相違点を比較して、神権政治の多様性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古代オリエント文明やエーゲ文明、南・東アジア、アメリカ大陸の神権政治の共通点や相違点を比較して、神権政治の特色とその現代的影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・神権政治にもとづく専制的な政治が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ①文明の誕生 ②古代オリエント文明とその周辺 ③南アジアの古代文明 ④中国の古代文明 ⑤南北アメリカ文明 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・世界各地で多様な国家・文明が成立したことを理解している。古代文明で行われた神権政治の多様性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・各地で行われた神権政治の共通点・相違点を比較し、その特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 神権政治にもとづく専制的な政治が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 ・秦・漢の皇帝による政治や隋・唐の皇帝や貴族による律令政治を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・秦・漢の皇帝を頂点とする社会秩序、隋・唐の皇帝や貴族による律令政治を考察し、隋・唐の国家・社会の秩序やその文化、国際関係、中央ユーラシアにおける遊牧民の社会について多面的・多角的に理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・皇帝・貴族による律令国家が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ①中央ユーラシア ②秦・漢 ③隋・唐 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・9世紀までの中央ユーラシア・東アジアの政治・文化・宗教についてその特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・9世紀までの中央ユーラシア・東アジアの政治・文化・宗教について、他地域と比較しながら多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・皇帝・貴族による律令国家が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	5
南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】 ・南アジアにおける諸王朝・地方王権の展開と社会の様子について、仏教やヒンドゥー教の影響を踏まえて理解している。東南アジアにおける「海の道」の政治的・文化的影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・南アジアにおける諸王朝・地方王権の展開と社会の様子について、仏教やヒンドゥー教の影響を踏まえて理解し、宗教に求められた役割について多面的・多角的に理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仏教やヒンドゥー教が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための宗教のあり方を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ①仏教のと南アジアの統一国家 ②インドの古典文化とヒンドゥー教 ③東南アジア世界の形成と展開 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・南アジアの人々が仏教に対して、解脱などの内面的な信仰だけでなく、政治的文化的な働きを求めていたことを理解している。インド分裂・混乱期に南アジア世界のまとまりがヒンドゥー教によって維持されたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・南アジアにおける諸王朝・地方王権の展開に際して、仏教やヒンドゥー教が果たした役割について、また、東南アジアと「海の道」の政治的・文化的関係について多面的・多角的に理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仏教やヒンドゥー教が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための宗教のあり方を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	3
定期考査			○	○		1

	西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 ・前6世紀から7世紀の西アジアにおいてイラン系の人々が形成した国家・社会、文化、地中海沿岸においてギリシア人が形成した国家・社会、文化、地中海を支配したローマ人が形成した社会・文化、キリスト教が広がったローマ社会の特色について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アケメネス朝、パルティア、ササン朝の国家・社会、文化の特徴を比較して、その共通点や相違点について、アテネにおける民主政への歩みとその特色やギリシア民主政の歴史的意義について、ローマ帝国の支配方法やキリスト教がローマ帝国の公認・国教となったことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・イラン人やローマ人が形成した帝国が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ①イラン諸国家の興亡とイラン文明 ②ギリシア世界 ③ローマ帝国とキリスト教 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・イラン系諸国家の政治・経済・文化の共通点や相違点を理解している。 ・ギリシア民主政と現代の政治制度との違いを理解している。 ・元首政、専制君主政、東西分割と柔軟に対応したことや、共和政の伝統を尊重・維持してきたこと、帝国の強大さの表象など長期に繫栄した要因を理解している。 ・皇帝や権力者が帝国の維持のためキリスト教を保護したことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・イラン系諸国家が行った戦争、交易、宗教などに着目し、その政治・経済・文化について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・参政権や制度に着目して、ギリシアと現代の政治制度を比較し、その違いを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・元首政、専制君主政、東西分割と柔軟に対応したことや、共和政の伝統を尊重・維持してきたこと、帝国の強大さの表象など支配方法を多面的・多角的に考察し、帝国が長期に繫栄した要因を判断する。 ・経済的格差の拡大や社会の混乱、ゲルマン民族の大移動とその影響に着目して、皇帝や権力者が帝国の維持のためにキリスト教を保護しようとしたことを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・イラン人やローマ人が形成した帝国が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。				7
	イスラーム教の成立とヨーロッパ社会の形成 【知識及び技能】 ・イスラーム教の誕生と、その領域拡大の状況を分析し、イスラーム教が社会をどのように変えたのかを理解する。 ・キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界の形成の経緯を分析し、各国ごとの特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イスラーム教の誕生と西アジア、北アフリカへの領域拡大の経緯について、各地域の政治、文化の変容や現代へのつながりについて改めて定義し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界の形成の状況を、多面的・多角的に考察し改めて定義することで、ヨーロッパ世界の多様性を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・あらたにイスラーム世界に組み込まれた地域の社会の変化が、人々の生活にどのような変化をもたらしたのか、また人々の生活を安定させ豊かにするものであったか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 ・ヨーロッパ世界形成の意味を、西ヨーロッパとビザンツ帝国を宗教や政治体制のあり方から比較、関連付けて追究しようとしている。	・指導事項 ①アラブの大征服とカリブ政権の成立 ②ヨーロッパ世界の形成 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	イスラーム教の成立とヨーロッパ社会の形成 【知識及び技能】 ・イスラーム教が西アジア、北アフリカへの領域拡大と並行して伝播した経緯と、各地域の政治、文化の変容について理解している。 ・キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界の形成の状況と多様性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イスラーム教が西アジア・北アフリカを変容させていく状況を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・キリスト教を軸とするヨーロッパ世界の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・あらたにイスラーム世界に組み込まれた地域の社会の変化が、人々の生活にどのような変化をもたらしたのか、また人々の生活を安定させ豊かにするものであったか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 ・ヨーロッパ世界形成の意味を、西ヨーロッパとビザンツ帝国を宗教や政治体制のあり方から比較、関連付けて追究しようとしている。	○	○	○	4

イスラーム教の伝播と西アジアの動向 【知識及び技能】 ・イスラーム勢力の西アジア・北アフリカ・イベリア半島への拡大と影響について理解する。 ・西アジアの王朝の変遷と特徴を分析し、イスラーム教の影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イスラーム教が各地に伝播し、社会や文化に影響を与えたことを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・イスラーム教の拡大が各地域で文化の融合を進めた状況を定義し、イスラームの影響の多様性について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・イスラーム世界の拡大が、伝播した地域にどのような影響を与えたか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、イスラーム教の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ①イスラーム教の諸地域への伝播 ②西アジアの動向 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・イスラーム教が、アラブ＝ムスリムの遠征や交易などを通して各地に伝播し、社会や文化に影響を与えたことを理解している。 ・イスラーム教の拡大が、各地域で文化の融合を進めたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イスラーム教の伝播とその影響について多面的・多角的に考察し、その意味を表現している。 ・イスラーム教の伝播が西アジア・北アフリカ・イベリア半島の社会に与えた影響を、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・イスラーム世界の拡大が、伝播した地域にどのような影響を与えたか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、イスラーム教の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	2
ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識及び技能】 ・西ヨーロッパ世界におけるローマ＝カトリック教会の影響について理解する。 ・東ヨーロッパ世界の特色を分析し、歴史的意義を理解する。 ・14世紀以降の西ヨーロッパ世界の変容を分析し、理解する。 ・中世西ヨーロッパの文化の特徴を分析し、その背景となる社会事象を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・西ヨーロッパ中世の枠組みや体制の形成について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・スラヴ人の国家形成やビザンツ帝国の勢力衰退について多面的・多角的に考察し多面的・多角的に考察し、表現している。 ・中世西ヨーロッパの特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・古代ギリシア文化やイスラーム文化の流入と中世文化に与えた影響を定義し、中世西ヨーロッパの文化の多様性について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中世ヨーロッパ世界が、地域ごとにどのような特徴を持つのか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、中世ヨーロッパ世界の特徴や意義を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ①西ヨーロッパの封建社会 ②東ヨーロッパ世界 ③西ヨーロッパ世界の変容 ④中世文化 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・教皇権の伸長、西ヨーロッパの拡大運動と商業の発達、中世都市の誕生など、西ヨーロッパ中世の枠組みや体制が形成されたことを理解している。 ・スラヴ人の国家形成の過程やビザンツ帝国の勢力衰退の状況について理解している。 ・中世西ヨーロッパの特徴である、封建制、王権の弱体状況を理解するとともに、それらが崩れて近代国家形成へ向かう状況を理解している。 ・古代ギリシア文化やイスラーム文化の流入と中世文化に与えた影響を定義し、中世西ヨーロッパの文化の多様性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・西ヨーロッパの封建社会の中で展開した、教会制度・拡大運動・商業の発達の状況を、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ロシアの状況、西、東スラヴ人の状況を、受容した宗教に関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現している。 ・中世西ヨーロッパの特徴がくずれて近代国家の形成が始まる状況を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・中世西ヨーロッパの文化のあり方を、ビザンツ帝国やイスラーム圏との関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中世ヨーロッパ世界が、地域ごとにどのような特徴を持つのか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、中世ヨーロッパ世界の特徴や意義を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6

	東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知識及び技能】 ・ 宋とアジア諸地域のつながりや影響を分析し、宋の東アジアにおける影響力について理解する。 ・ モンゴル帝国の拡大と影響について分析し、モンゴル帝国の歴史的意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 唐から宋にかけての支配者層の入れ替わりや周辺所民族の侵入について多面的・多角的に考察し、中国社会が周辺諸地域に与えた影響について表現している。 ・ モンゴル帝国の形成により東西交易のネットワークが形成されたことを考察し、大都を軸にアジアを中心とした「世界の一体化」が進められたことを理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ モンゴル帝国が、ユーラシア大陸の広域に勢力圏を広げた状況を考えてとともに、地域ごとにどのような特徴を持つのか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、中世ヨーロッパ世界の特徴や意義を主体的に追究しようとしている。	・ 指導事項 ① 宋とアジア諸地域の自立化 ② モンゴルの大帝国 ・ 教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・ 唐から宋にかけて、支配者層が入れ替わり、周辺所民族の侵入が中国社会に与えた影響を多面的に理解している。 ・ モンゴル帝国の形成により東西交易のネットワークが形成され、大都を軸にアジアを中心とした「世界の一体化」が進められたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 唐から宋にかけての支配者層の入れ替わりや、周辺所民族との関りが中国社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ モンゴル帝国がユーラシア大陸から東西に広がり、「世界の」一体化が進められた状況多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ モンゴル帝国が、ユーラシア大陸の広域に勢力圏を広げた状況を考えてとともに、地域ごとにどのような特徴を持つのか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、中世ヨーロッパ世界の特徴や意義を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	3
	定期考查			○	○		1
	大交易・大交流の時代 【知識及び技能】 ・ 東アジアや東南アジアに樹立された国家の特徴を分析し、明との関連性について理解する。 ・ ポルトガルとスペインを軸にヨーロッパの海外進出を分析し、「世界の一体化」へつながる状況を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 明朝の朝貢貿易が展開される中、周辺諸国との関係や異文化の流入など中国へもたらされた変化を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ ポルトガルやスペインの海外進出の本格化が、「世界の一体化」の端緒となることを多面的・多角的に考察し再定義することで、のちの本格的な世界の結びつきへとつながってゆくことを理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ モンゴル帝国の拡大が交易に与えた影響や、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、モンゴル帝国の領域の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。 ・ 明朝が形成した朝貢貿易と中国の交易のあり方を、ヨーロッパの交易のあり方と比較、関連付けて主体的に追求しようとしている。	・ 指導事項 ① アジア交易世界の興隆 ② ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 ・ 教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・ 明朝の朝貢貿易が展開される中、周辺諸国との関係や異文化の流入などが中国へもたらした変化の多様性について理解している。 ・ ポルトガルやスペインの海外進出の本格化が、「世界の一体化」の端緒となり、のちの本格的な世界の結びつきへとつながってゆくことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ ヨーロッパがしきりに海外進出を進めた16世紀の東南アジア、東アジアの社会の特色や多様性について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ ポルトガルやスペインの海外進出の状況の違いを比較し、多面的・多角的に考察し、改めてポルトガル、スペインの海外進出について表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ モンゴル帝国の拡大が交易に与えた影響や、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、モンゴル帝国の領域の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。 ・ 明朝が形成した朝貢貿易と中国の交易のあり方を、ヨーロッパの交易のあり方と比較、関連付けて主体的に追求しようとしている。	○	○	○	4

	アジア諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 ・オスマン帝国の領域拡大の経緯を分析し、どのような統治がおこなわれたのか、その実態と影響を理解する。 ・ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒の統治のあり方を分析し、その実態と経緯を理解する。 ・清朝の漢民族への統治政策を分析し、その目的と特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・オスマン帝国の領域拡大の状況と影響を、多面的・多角的に考察して再定義し、オスマン帝国が地中海沿岸諸国にもたらした影響の多様性について表現している。 ・ヒンドゥー教徒に対する統治のありい方を分析し、その特徴や効果について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・清朝の対漢民族に対する統治の実態を、多面的・多角的に考察し、再定義することで、清朝の対異民族政策の目的について表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・オスマン帝の支配領域の拡大が、ヨーロッパ社会や西アジア世界に与えた影響を話し合い、オスマン帝国の領域の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。 ・清朝の領域拡大と当地の方法について確認するとともに、ヨーロッパ文化の流入による社会の変容や変容しなかったことについて主体的に追求しようとしている。	・指導事項 ①オスマン帝国とサファヴィー朝 ②ムガル帝国の興隆 ③清代の中国と隣接諸地域 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・オスマン帝国の領域拡大の状況と影響を、理解している。 ・ムガル帝国のヒンドゥー教徒に対する統治の在り方の経緯と変化について理解している。 ・清朝の対漢民族に対する統治の、優遇と弾圧の両面性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・オスマン帝国の領域拡大と支配の実態について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ムガル帝国のヒンドゥー教徒への統治の時代による変化とその影響を、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・清朝の対漢民族統治の、優遇と弾圧の両面性について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・オスマン帝の支配領域の拡大が、ヨーロッパ社会や西アジア世界に与えた影響を話し合い、オスマン帝国の領域の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。 ・清朝の領域拡大と当地の方法について確認するとともに、ヨーロッパ文化の流入による社会の変容や変容しなかったことについて主体的に追求しようとしている。	○	○	○	3
	近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 ・14世紀にイタリアでおこったルネサンス運動の特徴を分析し、ルネサンス運動の意義について理解する。 ・宗教改革の特色と影響を分析し、その後のカトリック改革や宗教対立の内容について理解する。 ・主権国家体制の特色と成立について分析するとともに、絶対王政の存在意義について理解する。 ・オランダ・イギリス・フランスの国制の特色や台頭した理由について分析するとともに、それぞれの歴史的経過を理解する。 ・16～18世紀の北欧・東欧の興亡や為政者の統治の特徴を分析するとともに、啓蒙専制君主と呼ばれる体制を導入した意義について理解する。 ・科学革命と啓蒙思想の特徴を分析するとともに、現代の科学や思想に与えた意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ルネサンス運動を多面的・多角的に考察し改めてルネサンス運動の多様性と、ヨーロッパ社会や現代に与えた影響について表現している。 ・宗教改革を多面的・多角的に考察し、宗教改革を定義することで宗教改革の多様性と世界に与えた影響について表現している。 ・主権国家体制の成立について多面的・多角的に考察し、主権国家体制が世界に与えた影響について表現している。 ・オランダ・イギリス・フランスの国制を多面的・多角的に考察し、多様性について表現している。 ・16～18世紀の北欧・東欧の興亡や為政者の統治について多面的・多角的に考察し、啓蒙専制政治を導入しヨーロッパ国際政治における地位を向上させたことについて表現している。 ・科学革命と啓蒙思想について多面的・多角的に考察し、ヨーロッパ社会や現代社会に大きな影響を与えたことについて表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主権国家体制の形成と地球規模の交易が、いかに人々の生活を豊かにし安定させるものであったのかを話し合い、現代の社会において、よりよい社会や国際関係のあり方を主体的に探究している。	・指導事項 ①ルネサンス ②宗教改革 ③主権国家体制の成立 ④オランダ・イギリス・フランスの台頭 ⑤北欧・東欧の動向 ⑥科学革命と啓蒙思想 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・ルネサンス運動の多様性と、後のヨーロッパ社会や現代に与えた影響を理解している。 ・宗教改革の意義とカトリック改革やヨーロッパの宗教対立に与えた影響を理解している。 ・主権国家体制の成立の意義と三十年戦争の与えた影響を理解している。 ・オランダ・イギリス・フランスの国制の特徴の多様性を理解している。 ・16～18世紀にかけて、北欧・東欧でおこった興亡や歴史の多様性を理解している。 ・科学革命と啓蒙思想について特色や多様性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ルネサンス運動を多面的・多角的に考察し、改めてルネサンス運動を定義している。 ・ヨーロッパ各地でおこなわれた宗教改革とカトリック改革や宗教対立がヨーロッパ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、宗教改革について表現している。 ・主権国家体制と絶対王政についてイタリア戦争や三十年戦争などの戦争と関連付けながら多面的・多角的に考察し、ヨーロッパの主権国家体制について表現している。 ・各国の海外進出とその結果与えた影響を多面的・多角的に考察し、ヨーロッパ諸国がそれぞれどのような国家体制を築いていったかについて表現している。 ・16～18世紀の北欧・東欧でおこった興亡を多面的・多角的に考察し、啓蒙専制主義をはじめとする政治体制をどのように築いていったかについて表現している。 ・科学革命と啓蒙思想について多面的・多角的に考察し、科学革命と啓蒙思想について表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主権国家体制の形成と地球規模の交易が、いかに人々の生活を豊かにし安定させるものであったのかを話し合い、現代の社会において、よりよい社会や国際関係のあり方を主体的に探究している。	○	○	○	7

産業革命と環大西洋革命 【知識及び技能】 ・産業革命の特色と産業革命を可能にした条件を分析し、産業革命が与えた影響を理解する。 ・アメリカの独立と発展の特色を分析し、アメリカの独立の意義を理解する。 ・フランス革命とナポレオンの支配の経過を分析し、フランス革命とナポレオンの支配の意義を理解する。 ・中南米諸国の独立の特色を分析し、環大西洋革命の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・産業革命について多面的・多角的に考察し、改めて産業革命を定義することで、産業革命の多様性について表現している。 ・アメリカの独立を多面的・多角的に考察し、改めてアメリカの独立を定義することで、アメリカの独立の多様性について表現している。 ・フランス革命とナポレオンの支配を多面的・多角的に考察し、改めてフランス革命とナポレオンの支配を定義することで、多様性について表現している。 ・中南米諸国の独立とその背景を多面的・多角的に考察し、環大西洋革命を定義することで、環大西洋革命の多様性について理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・産業革命と環大西洋革命が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。	・指導事項 ①産業革命 ②アメリカ合衆国の独立と発展 ③フランス革命とナポレオンの支配 ④中南米諸国の独立 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・産業革命について特色や多様性を理解している。 ・アメリカ独立の特色や多様性について理解している。 ・フランス革命とナポレオンの支配の特色や多様性について理解している。 ・中南米諸国の独立と環大西洋革命の特色や多様性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・産業革命について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・アメリカの独立と発展について多面的・多角的に考察し、改めてアメリカの独立と発展について表現している。 ・フランス革命とナポレオンの支配について多面的・多角的に考察し、改めてフランス革命と発展について表現している。 ・中南米諸国の独立について多面的・多角的に考察し、改めて中南米諸国の独立と環大西洋革命について表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・産業革命と環大西洋革命が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。	○	○	○	5
イギリスの優位と欧米国民国家の形成 【知識及び技能】 ・19世紀前半のヨーロッパの国際秩序を規定した、ウィーン体制の構築と解体を理解する。 ・列強体制の統制が弱まり、複雑な動きをみせた、19世紀後半のヨーロッパの国際情勢を理解する。 ・領土を拡大し、南北戦争を経て世界最大の工業国となった、アメリカ合衆国の発展を理解する。 ・市民文化と国民文化、急速に発展した近代諸科学、近代国家の発展にともなう大都市の文化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ウィーン体制が構築した国際秩序の特質とその崩壊を多面的・多角的に考察し、19世紀の資本主義の発達との関係について表現している。 ・19世紀後半の国際情勢と、ドイツ統一後に再建された列強体制再建の影響を多面的・多角的に考察し、国際運動の進展の関係について表現している。 ・領土拡大と南北の対立、南北戦争について多面的・多角的に考察し、19世紀後半のアメリカ合衆国の発展について表現している。 ・市民文化と国民文化、近代諸科学と近代哲学の発展、探検・調査の進展、大衆文化の誕生について多面的・多角的に考察し、19世紀の欧米文化について表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・欧米諸国が形成した国民国家は、欧米諸国の人々の暮らしを安定させ、豊かな社会を築いたかを話し合い、より良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	・指導事項 ①ウィーン体制 ②列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ③アメリカ合衆国の発展 ④19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・ウィーン体制のもとで構築されたヨーロッパの国際秩序の特質と、その崩壊の過程を理解している。 ・列強体制が弱まった19世紀後半の各国の状況と、ドイツ統一後に再構築された列強体制のもとのヨーロッパの国際情勢と、国際運動やヨーロッパの拡大について理解している。 ・領土の拡大にともなう、奴隷制をめぐる南北の対立を背景に勃発した南北戦争の経過と、19世紀後半のアメリカ合衆国の発展について理解している。 ・市民文化と国民文化、近代諸科学と近代哲学の発展、探検・調査の進展、大衆文化の誕生など、多岐にわたる19世紀の欧米文化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ウィーン体制の形成とその特質、ウィーン体制が19世紀のヨーロッパに及ぼした影響を多面的・多角的に考察し、その歴史的意義を表現している。 ・クリミア戦争後のヨーロッパ各国の情勢や、ビスマルクが再構築した列強体制、国際運動やヨーロッパの拡大について多角的・多面的に考察し、ヨーロッパの国際情勢の変化について表現している。 ・領土の拡大に伴う南北の対立を背景として勃発した南北戦争と、19世紀後半のアメリカ合衆国の発展について多角的・多面的に考察し、表現している。 ・市民文化と国民文化、近代諸科学と近代哲学の発展、探検・調査の進展、大衆文化の誕生について多面的・多角的に考察し、19世紀の欧米文化の特色を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・欧米諸国が形成した国民国家は、欧米諸国の人々の暮らしを安定させ、豊かな社会を築いたかを話し合い、より良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

アジア諸地域の動揺 【知識及び技能】 ・諸民族の自立によるオスマン帝国の動揺と列強の勢力拡大で、西アジア地域がどのように変容したかを理解する。 ・インド、東南アジア諸地域が、ヨーロッパ諸国の植民地支配を受けるようになった過程を理解する。 ・欧米諸国の開国要求に対する清朝・日本・朝鮮各国の対応と、その後の東アジアの国際関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・オスマン帝国の列強への経済的従属と諸改革、ロシアとイギリスの進出を受けたイランとアフガニスタンの状況を多面的・多角的に考察し、西アジアの地域の変容について表現している。 ・インドがイギリスの支配下に入った過程と社会の変容、東南アジアにおけるヨーロッパ諸国の植民地経営を多面的・多角的に考察し、南アジア・東南アジアの植民地化について表現している。 ・清朝が不平等条約を締結する過程とロシアの東進の状況、開国後の日本の対外進出を多面的・多角的に考察し、東アジアの国際秩序の変容について表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・19世紀のヨーロッパ諸国の干渉や植民地政策がアジアの諸地域に及ぼした影響と、アジア諸地域の対応について話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	・指導事項 ①第2次産業革命と帝国主義 ②世界再分割と列強の対立 ③アジア諸国の変革と民族運動 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・オスマン帝国の弱体化と東方問題、列強の経済的支配と帝国が取り組んだ近代化をめざす諸改革、ロシアとイギリスの勢力争いに巻き込まれたイラン、アフガニスタンの状況を理解している。 ・当初、交易を求めたヨーロッパ諸国が、やがてインド・東南アジア諸地域を植民地化した過程とインド・東南アジア社会の変容、独立を維持したタイの状況について理解している。 ・清朝が英仏の圧力を受けて不平等条約を締結し、ロシアと新たな国境を定めた経過、明治政府が進めた近代化、日本の対外進出がもたらした新しい東アジアの国際秩序を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・列強の経済支配の進展と、オスマン帝国が取り組んだ諸改革、ロシアとイギリスの勢力争いが展開したイランとアフガニスタンの情勢について、多角的・多面的に考察し、表現している。 ・ヨーロッパ諸国がインド、東南アジアの植民地化をどのように進め、インド・東南アジアがどのように変容したか、多角的・多面的に考察し、表現している。 ・ヨーロッパ諸国の進出と反乱のなかで近代化にとりくんだ清、近代化とともに海外進出を進めた日本、日中両国が勢力を争った朝鮮について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・19世紀のヨーロッパ諸国の干渉や植民地政策がアジアの諸地域に及ぼした影響と、アジア諸地域の対応について話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	○	○	○	5
帝国主義とアジアの民族運動 【知識及び技能】 ・第2次産業革命とその影響、列強がアジア・アフリカに展開した帝国主義的政策と、国内の状況を理解する。 ・アフリカや太平洋地域の植民地化の過程と、従属地域の列強への抵抗を理解する。 ・清朝の改革の失敗と中華民国の建国、インド、東南アジア、西アジアの民族運動の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第2次産業革命とその影響、列強各国の状況、国際的社会主義運動の展開を多面的・多角的に考察し、帝国主義時代の世界について理解し表現している。 ・アフリカや太平洋地域の植民地化とラテンアメリカ諸国の従属化、列強の対立状況を多面的・多角的に考察し、列強の世界再分割を理解し表現している。 ・列強の進出に抵抗するアジア諸国の民族運動、立憲運動の展開を多面的・多角的に考察し、アジア諸国の変革を理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・欧米列強の帝国主義政策と、それに対するアジア諸地域の抵抗運動は、人々の生活にどのような影響をおよぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	・指導事項 ①第一次世界大戦とロシア革命 ②ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ③アジア・アフリカ地域の民族運動 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・第2次産業革命とその影響、列強の帝国主義政策と国内問題、国際的社会主義運動の展開など、帝国主義時代の世界を理解している。 ・アフリカや太平洋地域の植民地化の状況と、植民地獲得を進める列強間の対立を理解している。 ・アジア諸地域で展開した列強の進出に抵抗する民族運動と、専制政治に反対する立憲運動の展開を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第2次産業革命が欧米社会におよぼした影響、列強の植民地獲得競争と国内の諸問題について、多角的・多面的に考察し、表現している。 ・アフリカ、太平洋地域の植民地化、ラテンアメリカの従属化と帝国主義列強の二極分化について、多角的・多面的に考察し、表現している。 ・東アジア・南アジア・東南アジア・西アジア諸地域の民族運動と、列強への抵抗運動について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・欧米列強の帝国主義政策と、それに対するアジア諸地域の抵抗運動は、人々の生活にどのような影響をおよぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1

	第一次世界大戦と世界の変容 【知識及び技能】 ・第一次世界大戦と世界最初の社会主義国の成立について、その経緯とその後の世界におよぼした影響を理解する。 ・第一次世界大戦後につくられた新しい国際秩序と、大戦後の欧米諸国でおこった変化を理解する。 ・第一次世界大戦後のアジア・アフリカ諸地域で展開した民族運動を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦とロシア革命の展開を多面的・多角的に考察し、19世紀末から20世紀初めの国際関係と社会主義国の成立を理解し表現している。 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制が形成した国際秩序、ヨーロッパ各国、ソ連、アメリカ合衆国の動きを多面的・多角的に考察し、第一次世界大戦後の欧米諸国を理解し表現している。 ・アジア・アフリカ諸地域の民族運動と列強の対立を多面的・多角的に考察し、第一次世界大戦後の世界を理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第一次世界大戦とロシア革命による世界最初の社会主義国の成立は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	・指導事項 ①西アジア地域の変容 ②南アジア・東南アジアの植民地化 ③東アジアの激動 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・第一次世界大戦が起こった背景とその結果、ロシアで社会主義政権が成立した過程とその影響を理解している。 ・第一次世界大戦後の国際秩序の形成と、ヨーロッパ各国の置かれた状況と課題への取り組みを理解している。 ・植民地支配を維持しようとする列強の進出に抵抗する、第一次世界大戦後のアジア・アフリカ諸地域の民族運動を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・19世紀末から20世紀初めの国際関係と、それを背景としておこった第一次世界大戦とロシア革命を多角的・多面的に考察し、表現している。 ・戦後の国際秩序の形成、西欧・東欧諸国、ソ連、アメリカが向かい合った課題について、多角的・多面的に考察し、表現している。 ・東アジア、南アジア、東南アジア、西アジア、アフリカの民族運動と列強の統治と干渉を関連付け、第一次世界大戦後の民族運動を多角的・多面的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第一次世界大戦とロシア革命による世界最初の社会主義国の成立は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	○	○	○	3
	第一次世界大戦と世界の変容 【知識及び技能】 ・第一次世界大戦と世界最初の社会主義国の成立について、その経緯とその後の世界におよぼした影響を理解する。 ・第一次世界大戦後につくられた新しい国際秩序と、大戦後の欧米諸国でおこった変化を理解する。 ・第一次世界大戦後のアジア・アフリカ諸地域で展開した民族運動を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦とロシア革命の展開を多面的・多角的に考察し、19世紀末から20世紀初めの国際関係と社会主義国の成立を理解し表現している。 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制が形成した国際秩序、ヨーロッパ各国、ソ連、アメリカ合衆国の動きを多面的・多角的に考察し、第一次世界大戦後の欧米諸国を理解し表現している。 ・アジア・アフリカ諸地域の民族運動と列強の対立を多面的・多角的に考察し、第一次世界大戦後の世界を理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第一次世界大戦とロシア革命による世界最初の社会主義国の成立は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	・指導事項 ①西アジア地域の変容 ②南アジア・東南アジアの植民地化 ③東アジアの激動 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・第一次世界大戦が起こった背景とその結果、ロシアで社会主義政権が成立した過程とその影響を理解している。 ・第一次世界大戦後の国際秩序の形成と、ヨーロッパ各国の置かれた状況と課題への取り組みを理解している。 ・植民地支配を維持しようとする列強の進出に抵抗する、第一次世界大戦後のアジア・アフリカ諸地域の民族運動を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・19世紀末から20世紀初めの国際関係と、それを背景としておこった第一次世界大戦とロシア革命を多角的・多面的に考察し、表現している。 ・戦後の国際秩序の形成、西欧・東欧諸国、ソ連、アメリカが向かい合った課題について、多角的・多面的に考察し、表現している。 ・東アジア、南アジア、東南アジア、西アジア、アフリカの民族運動と列強の統治と干渉を関連付け、第一次世界大戦後の民族運動を多角的・多面的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第一次世界大戦とロシア革命による世界最初の社会主義国の成立は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。	○	○	○	3

3 学 期	第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 【知識及び技能】 - 世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊を分析し、世界恐慌がヴェルサイユ体制の崩壊をもたらした過程を理解する。 - 第二次世界大戦がどのような対立構造を持ち、どのように展開していたのかを分析し、大戦がもたらした意義について理解する。 - 新しい国際秩序の形成について特色を分析し、戦後の国際秩序の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊を多面的・多角的に考察し、国際関係の緊張と対立を構造的に理解し表現している。 - 第二次世界大戦について多面的・多角的に考察し改めて第二次世界大戦を定義することで、第二次世界大戦の多様性を理解し表現している。 - 新しい国際秩序の形成について多面的・多角的に考察し改めて戦後の新しい国際秩序を定義することで、多様性を理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 - 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。	・指導事項 ①世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 ②第二次世界大戦 ③新しい国際秩序の形成 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 - 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊などをもとに、国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 - 第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 - 第二次世界大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど諸地域の変容を構造的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊について多面的・多角的に考察し、国際関係の緊張と対立を構造的に理解し、改めて世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊について表現している。 - 第二次世界大戦について多面的・多角的に考察し、改めて第二次世界大戦を定義し表現している。 - 新しい国際秩序の形成について多面的・多角的に考察して、改めて新しい国際秩序の形成について定義し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 - 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。	○	○	○	7
	冷戦と第三世界の台頭 【知識及び技能】 - 冷戦の展開について分析し、どのような影響を与えたかを理解する。 - 第三世界の特色を分析し、第三世界が台頭した意義について理解する。 - 冷戦体制の動揺について特色を分析し、冷戦体制が動揺した背景や意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 冷戦の展開について多面的・多角的に考察し改めて冷戦について定義することで、冷戦の意義について理解し表現している。 - 第三世界の台頭について多面的・多角的に考察し改めて第三世界の台頭について定義することで、第三世界の多様性を理解し表現している。 - 冷戦体制の動揺について多角的多面的に考察し改めて冷戦体制の動揺について定義することで、その後の社会体制の多様性を理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 - 冷戦と第三世界の台頭が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。	・指導事項 ①冷戦の展開 ②第三世界の台頭とキューバ危機 ③冷戦体制の動揺 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 - 冷戦の展開についての多様性について理解している。 - 第三世界の多様性について理解している。 - 冷戦体制の動揺について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 冷戦の展開を多面的・多角的に考察し、改めて冷戦の展開を定義し表現している。 - 第三世界の台頭とキューバ危機を多面的・多角的に理解し、改めて第三世界の台頭とキューバ危機を定義し表現している。 - 冷戦体制の動揺について多面的・多角的に理解し、改めて冷戦体制の動揺について定義し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 - 冷戦と第三世界の台頭が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。	○	○	○	4

	冷戦の終結と今日の世界 【知識及び技能】 ・1970年代の世界経済の転機が、どのようにして始まったかを理解する。 ・米ソ両国がどのように「新冷戦」を乗り越え、冷戦終結を実現したか、また冷戦終結後に世界がどのように変化したかを理解する。 ・冷戦終結後、世界の諸地域はどのように変容し、どのような課題を抱えているかを理解する。 ・現代社会において、変化を遂げてきた人々の世界観や生活のありようを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ドル=ショックとオイル=ショックの影響、中東戦争とイラン=イスラーム革命による中東の変容を多面的・多角的に考察し、1970年代の世界経済の変容を理解し表現している。 ・「新冷戦」、東欧社会主義国の改革と中国の民主化運動、冷戦終結後の世界を多面的・多角的に考察し、冷戦終結後にも残る資本主義が生み出す未解決の問題を理解し表現している。 ・冷戦終結後の諸地域、各国が向き合う諸問題を多面的・多角的に考察し、グローバリゼーションが進む世界の課題への対応に国際的協力が必要であることを理解し表現している。 ・科学技術の発展や近代合理主義の考え方について多面的・多角的に考察し、私たちが継承していくべき文化について理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・1970年代の世界経済の転換と、冷戦終結後の世界の変化は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であることを主体的に追求しようとしている。	・指導事項 ①産業構造の変容 ②冷戦の終結 ③今日の世界 ④現代文明の諸相 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・ドル=ショック、オイル=ショック、第3次中東戦争、第4次中東戦争、イラン=イスラーム革命が、世界の経済や政治情勢に及ぼした影響を理解している。 ・「新冷戦」、東欧社会主義国の改革、冷戦終結宣言とソ連圏の崩壊 東アジアの民主化、南アフリカの人種差別法撤廃など、1970～90年代の世界の動きを理解している。 ・世界各地の民族問題や政治・社会・経済問題、世界経済の多元的構造、同時多発テロ後の世界情勢など、冷戦終結後の世界が直面する問題を理解している。 ・現代社会における世界観や生活のありかたの変化と、私たちが継承していくべき理性や進歩、自由や人権の概念を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・西側先進諸国の産業構造の転換と新自由主義的政策の推進、第3次・第4次中東戦争とイラン=イスラーム革命が世界に及ぼした影響を多面的・多角的に考察し、1970～80年代の世界経済の変化を表現している。 ・「新冷戦」、東欧社会主義国の改革、東アジアの民主化運動と南アの人種差別撤廃、冷戦終結が世界におよぼした影響を多角的・多面的に考察し、1970～90年代の世界について表現している。 ・世界各地の民族問題、地域紛争や経済問題などを多角的・多面的に考察し、今日の世界が直面する諸問題について表現している。 ・20世紀の科学技術の革新とその影響や、近代合理主義が今日の世界に及ぼす影響、わたしたちが受け継ぐべき概念を多角的・多面的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・1970年代の世界経済の転換と、冷戦終結後の世界の変化は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であることを主体的に追求しようとしている。	○	○	○	7
	地球世界の課題の探究 【知識及び技能】 ・グローバル化の進展、地域紛争やテロ、排外主義の横行、人権問題、自然環境問題、経済格差の拡大、科学技術など、地球世界の課題について、歴史的背景や事象相互の関連に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸資料を比較したり関連付けたりし、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球世界の課題について、持続可能な社会の実現を視野に入れて、主体的に探究しようとしている。	・指導事項 ①地球世界の課題の探究 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	地球世界の課題の探究 【知識及び技能】 ・わたしたちの前にある、様々な地球世界の課題を適切に理解している。 ・課題の探究のために、効果的に資料を活用し、歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な地球世界の課題の形成に関わる諸事情の歴史的背景や、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球世界の課題について、持続可能な社会の実現を視野に入れて、主体的に探究しようとしている。	○	○	○	3
							合計
							105

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教 科： 公民 科 目： 政治・経済 単位数： 単位 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1 組～5 組： 岡本 大輝 ）

使用教科書：（ 最新政治・経済 実教出版 ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 現代国家と民主政治 【知識及び技能】 ・近代民主政治の成立について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・基本的人権の保障はどのように拡大したのか表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主政治のしくみと課題を理解したうえで、権力分立と立憲主義の重要性を追求することができる。	・指導事項 ①民主政治と法 ②民主政治と基本原理 ③民主政治のしくみと課題 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・法の意義と役割のほか、法の分類についても理解している。 【思考・判断・表現】 ・多数決の長所と短所について、自身の身近な事例にも言及しながら協働的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国民主権を担う公民としての自覚をもとに、基本的人権や法の支配の重要性などについて主体的に理解・追究しようとしている。	○	○	○	4
	B 日本国憲法と基本的人権 【知識及び技能】 ・日本国憲法の成立過程を踏まえつつ、明治憲法との違いについて基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本国憲法の基本原理を理解したうえで、憲法の改正手続きについて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・新しい人権について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	・指導事項 ①日本国憲法の成立 ②自由に生きる権利 ③新しい人権 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・日本国憲法の成立過程を理解している。 ・環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自由権、平等権、社会権について、各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・憲法の最高法規性や日本国憲法の原理、改正手続きなどについて主体的に理解・追究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	C 日本の政治制度と政治参加 【知識及び技能】 ・国会の役割や権限について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・裁判員制度の意義と課題について協働的に考察し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・選挙制度について関心を深めており、デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとしている。	・指導事項 ①政治機構と国会 ②内閣と行政機能の拡大 ③公正な裁判の保障 ④選挙制度 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・国会の役割や権限、運営について理解している。 【思考・判断・表現】 ・より公正な選挙制度のあり方について、「多様な民意の反映」や「政治の安定」といった観点に立ちながら多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	D 現代の経済社会 【知識及び技能】 ・資本主義経済と社会主義経済の特徴について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・3つの経済主体間の経済循環について適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・金融を通した経済活動の活性化について意欲的に追求しようとしている。	・指導事項 ①経済活動の意義 ②経済主体と市場の働き ③金融の役割 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 ・市場経済における生産要素の効率的な配分や、政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・金融技術の革新について主体的に追究して、それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

2 学 期	D 現代の経済社会 【知識及び技能】 ・資本主義経済と社会主義経済の特徴について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・3つの経済主体間の経済循環について適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・金融を通した経済活動の活性化について意欲的に追求しようとしている。	・指導事項 ①経済活動の意義 ②経済主体と市場の働き ③金融の役割 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・資本主義経済の成立と展開，経済における政府の役割の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 ・市場経済における生産要素の効率的な配分や，政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・金融技術の革新について主体的に追究して，それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。	○	○	○	7
	E 現代の日本経済と福祉の向上 【知識及び技能】 ・高度経済成長期，安定成長期，現在の成長率について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・消費社会の拡大や過度な宣伝等について問を見出し，消費者主権や消費者の権利の観点などから協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 会社情報や労働条件に対する興味関心を高め，就業に際して自身が重視する観点を主体的に追究しようとしている。	・指導事項 ①日本の経済成長と課題 ②消費者問題 ③労働問題と労働者の権利 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・戦後復興，高度経済成長，バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。 【思考・判断・表現】 ・消費者の権利と責任について，自由と義務の観点から整理し，レポートにまとめるなど適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の労働をめぐる現状と課題を理解したうえで，諸外国の労働環境やこれからの日本の労働環境について興味関心をもち，探究するための意欲を高めている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	F 現代日本における諸課題の探求 【知識及び技能】 ・持続可能な地域社会のあり方について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歳入・歳出両面での財政健全化などについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多様な働き方・生き方を可能にする社会についての自分の考えを説明，論述している。	・指導事項 ①持続可能な地域社会のあり方を考える ②財政健全化を考える ③ワーク・ライフ・バランスの実現を考える ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・各課題に関連する知識を整理し，理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現のために，現代日本の諸課題を主体的に追究し，他者との協働もはかりながら，多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	○	○	○	5
	G 国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 ・二度の世界大戦が国際法と国際政治に与えた影響について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紛争をなくしていくためのルールや制度について協働的に考察し，それらを適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・冷戦による対立構造と安全保障のジレンマについて主体的に追求している。	・指導事項 ①国際社会と国際法 ②国際連合と国際協力 ③軍拡競争から軍縮へ ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。 ・二度の世界大戦を契機として，国際法に大きな変化が生じたことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際連合が抱えている課題について，採決や財政の観点などから協働的に考察し，それらを適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，軍縮における合意形成の過程を参考にして，他者との意見調整などに生かそうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3	G 国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 ・二度の世界大戦が国際法と国際政治に与えた影響について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紛争をなくしていくためのルールや制度について協働的に考察し，それらを適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・冷戦による対立構造と安全保障のジレンマについて主体的に追求している。	・指導事項 ①国際社会と国際法 ②国際連合と国際協力 ③軍拡競争から軍縮へ ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。 ・二度の世界大戦を契機として，国際法に大きな変化が生じたことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際連合が抱えている課題について，採決や財政の観点などから協働的に考察し，それらを適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，軍縮における合意形成の過程を参考にして，他者との意見調整などに生かそうとしている。	○	○	○	1
	H 国際経済理論 【知識及び技能】 ・自由貿易や保護貿易について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・円高と円安が日本経済に及ぼす影響について，具体的な貿易を想定し，それらを適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体的な事例を基にして為替相場の動向が経済に与える影響について主体的に追求している。	・指導事項 ①貿易と国際収支 ②外国為替市場のしくみ ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・自由貿易のメリットを，比較生産費説をもとに理解している。 【思考・判断・表現】 ・自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか，協働的に考察し，それを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自由貿易を推進するメリットと，近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に追究し，望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	2

学期	I 国際経済の動向と課題	・指導事項 ①第二次世界大戦後の国際経済 ②発展途上国の課題と展望 ③地球環境問題、資源エネルギー問題	【知識・技能】 ・各地域でどのような経済統合が形成されていったかについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・モノカルチャー経済に依存する経済上の問題について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球温暖化や資源エネルギーをめぐる現状を理解したうえで、脱炭素社会の形成について興味関心をもち、「地球環境問題、資源エネルギー問題」を探究するための意欲を高めている。	○	○	○	7
	J 国際社会における諸課題の探求	・指導事項 ①難民問題を考える ②自動運転技術を考える ③地球環境問題、資源エネルギー問題を考える	【知識・技能】 ・各課題に関連する知識を整理し、理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現のために、現代日本の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	○	○	○	6
		・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等					合計
							70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅲ 単位数： 5 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組～ 5 組

教科担当者：（4,5組：岩葉）

使用教科書：（ 数学Ⅲ Standard ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数を苦を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ 極限，微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・ 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	・ 数列や関数の値の変化に着目し，極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりすることができる。 ・ いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。	・ 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第1章 1節 関数 【知識・技能】 ・ 分数関数 $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフをかくことができる。 ・ 無理関数 $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフをかくことができる。 ・ 無理関数のグラフの特徴を理解し，無理関数のグラフを利用して，不等式を満たすxの値の範囲を求めることができる。 ・ 逆関数の意味を理解し，関数の逆関数を求めることや，関数のグラフから逆関数のグラフをかくことができる。 ・ 合成関数の意味を理解し，2つの関数の合成関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 具体的に分数関数のグラフをかき，その特徴を考察することができたか。 ・ 具体的に無理関数のグラフをかき，その特徴を考察することができたか。 ・ 関数のグラフとその関数の逆関数のグラフをかき，位置関係を考察することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 具体的に分数関数のグラフをかき，その特徴を考えようとしていたか。 ・ 具体的に無理関数のグラフをかき，その特徴を考えようとしていたか。 ・ 関数のグラフとその関数の逆関数のグラフをかき，位置関係を考えようとしていたか。	・ 指導事項 ○分数関数とそのグラフ ○無理関数とそのグラフ ○逆関数と合成関数 ・ 教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・ 一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて，プリント＋PDFにて配信	【知識・技能】 ・ 分数関数 $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフをかくことができたか。 ・ 無理関数 $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフをかくことができたか。 ・ 無理関数のグラフの特徴を理解し，無理関数のグラフを利用して，不等式を満たすxの値の範囲を求めることができたか。 ・ 逆関数の意味を理解し，関数の逆関数を求めることや，関数のグラフから逆関数のグラフをかくことができたか。 ・ 合成関数の意味を理解し，2つの関数の合成関数を求めることができたか。 【思考・判断・表現】 ・ 具体的に分数関数のグラフをかき，その特徴を考察することができたか。 ・ 具体的に無理関数のグラフをかき，その特徴を考察することができたか。 ・ 関数のグラフとその関数の逆関数のグラフをかき，位置関係を考察することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 具体的に分数関数のグラフをかき，その特徴を考えようとしていたか。 ・ 具体的に無理関数のグラフをかき，その特徴を考えようとしていたか。 ・ 関数のグラフとその関数の逆関数のグラフをかき，位置関係を考えようとしていたか。	○	○	○	14
	第1章 2節 数列の極限 【知識及び技能】 ・ 数列の収束，発散と数列の極限の基本的な性質について理解し，数列の極限を求めることができる。 ・ はさみうちの原理を利用して，数列の極限を求めることができる。 ・ 無限等比数列 $\{r^n\}$ の収束する条件を活用して，与えられた数列の収束，発散や極限などを調べることができる。	・ 指導事項 ○数列の極限 ○無限等比数列 ○無限級数 ・ 教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・ 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・ 数列の収束，発散と数列の極限の基本的な性質について理解し，数列の極限を求めることができたか。 ・ はさみうちの原理を利用して，数列の極限を求めることができたか。 ・ 無限等比数列 $\{r^n\}$ の収束する条件を活用して，与えられた数列の収束，発散や極限などを調べることができたか。 ・ 無限級数について理解し，その収束，発散を調べたり，無限級数が収束するとき，その和を求めたりすることや，無限等比級数が収束する条件を理解し，その和を求めたりすることができたか。				

1 学 期	・無限級数について理解し，その収束，発散を調べたり，無限級数が収束するとき，その和を求めたりすることや，無限等比級数が収束する条件を理解し，その和を求めたりすることができる。 ・図形への応用や循環小数の考察を通して，その理解を深めるとともに，問われたものを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数列の第n項を変形して，その収束と極限值について考察することができる。 ・場合分けを用いて，数列の収束と極限について考察することができる。 ・場合分けを用いて，数列の収束と極限について考察することができる。 ・極限值と四則の性質を用いて，無限級数の和を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数列の第n項を変形して，その収束と極限值について考えようとしている。 ・極限值と四則の性質を用いて，無限級数の和を考えようとしている。	応用問題・発展問題による演習プリントにおいて，プリント＋PDFにて配信	・図形への応用や循環小数の考察を通して，その理解を深めるとともに，問われたものを求めることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数列の第n項を変形して，その収束と極限值について考察することができたか。 ・場合分けを用いて，数列の収束と極限について考察することができたか。 ・場合分けを用いて，数列の収束と極限について考察することができたか。 ・極限值と四則の性質を用いて，無限級数の和を考察することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数列の第n項を変形して，その収束と極限值について考えようとしていたか。 ・極限值と四則の性質を用いて，無限級数の和を考えようとしていたか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	第1章 3節 関数の極限	【知識及び技能】 ・指数関数，対数関数，三角関数などの極限を調べることができる。 ・関数の連続性について理解し，関数が連続である区間を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・絶対値の付いた分数関数について，極限値の存在を判断することができる。 ・グラフを用いて，関数の極限を考察することができる。 ・図形を利用して，$\lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$ を証明することができる。 ・中間値の定理について理解し，ある区間における実数解の存在を証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・絶対値の付いた分数関数について，極限値の存在を判断しようとしている。 ・グラフを用いて，関数の極限を考えようとしている。 ・図形を利用して，$\lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$ を証明しようとしている。	・指導事項 ○いろいろな関数と極限 ○関数の連続性 ・教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて，プリント＋PDFにて配信	【知識及び技能】 ・指数関数，対数関数，三角関数などの極限を調べることができたか。 ・関数の連続性について理解し，関数が連続である区間を求めることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・絶対値の付いた分数関数について，極限値の存在を判断することができたか。 ・グラフを用いて，関数の極限を考察することができたか。 ・図形を利用して，$\lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$ を証明することができたか。 ・中間値の定理について理解し，ある区間における実数解の存在を証明することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・絶対値の付いた分数関数について，極限値の存在を判断しようとしたか。 ・グラフを用いて，関数の極限を考えようとしたか。 ・図形を利用して，$\lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$ を証明しようとしたか。	○	○	○
第2章 1節 微分	【知識及び技能】 ・導関数の定義にしたがって，基本的な関数の導関数を求めることができる。 ・積・商の微分法を用いて，いろいろな関数の導関数を求めることができる。 ・合成関数の微分法及び逆関数の微分法を用いて，いろいろな関数の導関数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関数の微分可能性と連続性について考察できる。 ・積の微分法を用いて，商の導関数について考察することができる。 ・nが整数のとき，$(x^n)' = nx^{n-1}$ が成り立つことを考察することができる。	・指導事項 ○導関数 ○積・商の微分法 ○合成関数の微分法 ・教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて，プリント＋PDFにて配信	【知識及び技能】 ・導関数の定義にしたがって，基本的な関数の導関数を求めることができたか。 ・積・商の微分法を用いて，いろいろな関数の導関数を求めることができたか。 ・合成関数の微分法及び逆関数の微分法を用いて，いろいろな関数の導関数を求めることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関数の微分可能性と連続性について考察することができたか。 ・積の微分法を用いて，商の導関数について考察することができたか。 ・nが整数のとき，$(x^n)' = nx^{n-1}$ が成り立つことを考察することができたか。 ・rが有理数のとき，$(x^r)' = rx^{r-1}$ が成り立つことを考察することができたか。	○	○	○	15

	・rが有理数のとき、$(x^r)'=rx^{(r-1)}$ が成り立つことを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・nが整数のとき、$(x^n)'=nx^{(n-1)}$ が成り立つことを考えようとしている。		【学びに向かう力、人間性等】 ・nが整数のとき、$(x^n)'=nx^{(n-1)}$ が成り立つことを考えようとしたか。				
	定期考査			○	○		1
2学期	第2章 2節 いろいろな関数の導関数 【知識及び技能】 ・合成関数の微分法や積の微分法を用いて、三角関数を含む関数の導関数を求めることができる。 ・対数関数の微分法を合成関数の微分法を用いて、対数関数の導関数を求めることができる。 ・高次導関数について理解し、第n次導関数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・導関数の定義を用いて、関数$\cos x$の導関数を考察することができる。 ・対数微分法を用いて、指数関数の導関数を考察することができる。 ・いろいろな関数の第n次導関数を場合分けを用いて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・対数微分法を用いて、指数関数の導関数を考えようとしている。 ・いろいろな関数の第n次導関数を場合分けを用いて考えようとしている。	・指導事項 ○三角関数の導関数 ○対数関数・指数関数の導関数 ○高次導関数 ・教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント＋PDFにて配信	【知識及び技能】 ・合成関数の微分法や積の微分法を用いて、三角関数を含む関数の導関数を求めることができたか。 ・対数関数の微分法を合成関数の微分法を用いて、対数関数の導関数を求めることができたか。 ・高次導関数について理解し、第n次導関数を求めることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・導関数の定義を用いて、関数$\cos x$の導関数を考察することができたか。 ・対数微分法を用いて、指数関数の導関数を考察することができたか。 ・いろいろな関数の第n次導関数を場合分けを用いて考察することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・対数微分法を用いて、指数関数の導関数を考えようとしていたか。 ・いろいろな関数の第n次導関数を場合分けを用いて考えようとしたか。	○	○	○	17
	第3章 1節 関数の増減 【知識及び技能】 ・曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができる。 ・媒介変数で表された曲線の接線の方程式を求めることができる。 ・関数の増減を調べたり、関数の値の変化を調べて、極値を求めたりすることができる。 ・これまで学習したことを総合していろいろな関数のグラフの概形をかくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合成関数の微分法を用いて、円の接線の傾きを考察することができる。 ・円の媒介変数表示から導関数を求め、接線の傾きを考察することができる。 ・平均値の定理について考察したり、平均値の定理に基づいて関数の増減に関する性質を証明したりすることができる。 ・曲線の形を調べるために、第2次導関数が有用である理由を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・合成関数の微分法を用いて、円の接線の傾きを考えようとしている。 ・円の媒介変数表示から導関数を求め、接線の傾きを考えようとしている。 ・曲線の形を調べるために、第2次導関数が有用である理由を説明しようとしている。	・指導事項 ○接線の方程式 ○関数の増減 ○第2次導関数とグラフ ・教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント＋PDFにて配信	【知識及び技能】 ・曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができたか。 ・媒介変数で表された曲線の接線の方程式を求めることができたか。 ・関数の増減を調べたり、関数の値の変化を調べて、極値を求めたりすることができたか。 ・これまで学習したことを総合していろいろな関数のグラフの概形をかくことができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合成関数の微分法を用いて、円の接線の傾きを考察することができたか。 ・円の媒介変数表示から導関数を求め、接線の傾きを考察することができたか。 ・平均値の定理について考察したり、平均値の定理に基づいて関数の増減に関する性質を証明したりすることができたか。 ・曲線の形を調べるために、第2次導関数が有用である理由を説明することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・合成関数の微分法を用いて、円の接線の傾きを考えようとしたか。 ・円の媒介変数表示から導関数を求め、接線の傾きを考えようとしたか。 ・曲線の形を調べるために、第2次導関数が有用である理由を説明しようとしたか。	○	○	○	18

定期考査			○	○		1
第3章 2節 微分のいろいろな応用 【知識及び技能】 ・微分法を用いて、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・微分法を用いて、不等式を証明したり、方程式の実数解の個数を調べたりすることができる。 ・運動する点の速度・加速度が導関数を用いて表現できることを理解し、その速度・加速度を求めることができる。 ・1次近似式について理解し、関数の近似式を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章から立式し題意を満たすものを求めることにより、2変数の関係性を推測し、説明することができる。 ・平均値の定理を応用して、不等式を証明することができる。 ・速度の変化を式で表すことにより、速度の変化の様子を説明することができる。 ・関数のグラフの接線の傾きを利用して、数の近似値を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・速度の変化を式で表すことにより、速度の変化の様子を説明しようとしている。 ・関数のグラフの接線の傾きを利用して、数の近似値を考えようとしている。	・指導事項 ○最大・最小 ○方程式・不等式への応用 ○速度・加速度 ○近似式 ・教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信	【知識及び技能】 ・微分法を用いて、関数の最大値・最小値を求めることができたか。 ・微分法を用いて、不等式を証明したり、方程式の実数解の個数を調べたりすることができたか。 ・運動する点の速度・加速度が導関数を用いて表現できることを理解し、その速度・加速度を求めることができたか。 ・1次近似式について理解し、関数の近似式を求めることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章から立式し題意を満たすものを求めることにより、2変数の関係性を推測し、説明することができたか。 ・平均値の定理を応用して、不等式を証明することができたか。 ・速度の変化を式で表すことにより、速度の変化の様子を説明することができたか。 ・関数のグラフの接線の傾きを利用して、数の近似値を考察することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・速度の変化を式で表すことにより、速度の変化の様子を説明しようとしたか。 ・関数のグラフの接線の傾きを利用して、数の近似値を考えようとしたか。				
第4章 1節 不定積分 【知識及び技能】 ・不定積分の基本的な性質や公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求めることができる。 ・置換積分法を利用し、不定積分を求めることができる。 ・部分積分法を利用し、不定積分を求めることができる。 ・三角関数の加法定理から導かれる積を和・差に直す公式を用いて、三角関数の不定積分を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合成関数の微分法から、不定積分を推測することができる。 ・置換積分法を利用して、三角関数の不定積分について考察することができる。 ・積の微分法から、不定積分を推測することができる。また、部分積分法について考察することができる。 ・部分分数分解を用いると分数関数の不定積分を求められることから、部分分数分解の有用性を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・合成関数の微分法から、不定積分を推測しようとしている。 ・置換積分法を利用して、三角関数の不定積分について考えようとしている。 ・積の微分法から、不定積分を推測しようとしている。また、部分積分法について考えようとしている。	・指導事項 ○不定積分 ○置換積分法 ○部分積分法 ○いろいろな関数の不定積分 ・教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信	【知識及び技能】 ・不定積分の基本的な性質や公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求めることができたか。 ・置換積分法を利用し、不定積分を求めることができたか。 ・部分積分法を利用し、不定積分を求めることができたか。 ・三角関数の加法定理から導かれる積を和・差に直す公式を用いて、三角関数の不定積分を求めることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合成関数の微分法から、不定積分を推測することができたか。 ・置換積分法を利用して、三角関数の不定積分について考察することができたか。 ・積の微分法から、不定積分を推測することができる。また、部分積分法について考察することができたか。 ・部分分数分解を用いると分数関数の不定積分を求められることから、部分分数分解の有用性を説明することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・合成関数の微分法から、不定積分を推測しようとしたか。 ・置換積分法を利用して、三角関数の不定積分について考えようとしたか。 ・積の微分法から、不定積分を推測しようとしたか。また、部分積分法について考えようとしたか。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1

3
学
期

第4章 2節 定積分 【知識及び技能】 ・いろいろな関数の定積分の値を計算することができる。 ・置換積分法を用いて、定積分の値を求めることができる。 ・偶関数と奇関数の定積分の性質を理解し、定積分の値を求めることができる。 ・部分積分法を用いて、定積分の値を求めることができる。 ・積分と微分の関係を理解し、定積分で表された関数を微分することができる。 ・区分求積法の考え方を理解し、和の極限値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・絶対値の付いた三角関数の定積分について、グラフを利用して考察することができる。 ・置換積分法を用いて、扇形の面積を考察することができる。 ・部分積分法を利用して、定積分で表された関数の導関数を考察することができる。 ・定積分の考え方をを用いて、不等式を証明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・置換積分法を用いて、扇形の面積を考えようとしている。	・指導事項 ○定積分 ○定積分の置換積分法と部分積分法 ○定積分で表された関数 ○定積分と区分求積法 ・教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント＋PDFにて配信	【知識及び技能】 ・いろいろな関数の定積分の値を計算することができたか。 ・置換積分法を用いて、定積分の値を求めることができたか。 ・偶関数と奇関数の定積分の性質を理解し、定積分の値を求めることができたか。 ・部分積分法を用いて、定積分の値を求めることができたか。 ・積分と微分の関係を理解し、定積分で表された関数を微分することができたか。 ・区分求積法の考え方を理解し、和の極限値を求めることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・絶対値の付いた三角関数の定積分について、グラフを利用して考察することができたか。 ・置換積分法を用いて、扇形の面積を考察することができたか。 ・部分積分法を利用して、定積分で表された関数の導関数を考察することができたか。 ・定積分の考え方をを用いて、不等式を証明することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・置換積分法を用いて、扇形の面積を考えようとしたか。	○	○	○	24
第4章 3節 面積・体積・長さ 【知識及び技能】 ・いろいろな曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。 ・立体の体積が定積分によって求められることを理解し、体積を求めることができる。 ・曲線の長さが定積分によって求められることを理解し、曲線の長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・yの値の範囲を用いた面積の求め方について、いろいろな視点で考察することができる。 ・回転体の体積の求め方を考察することができる。 ・曲線の長さを求める方法を利用して、速度を与えられたときの道のりを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・yの値の範囲を用いた面積の求め方について、いろいろな視点で考えようとしている。 ・回転体の体積の求め方を考えようとしている。	・指導事項 ○面積 ○体積 ○曲線の長さとの道のり ・教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント＋PDFにて配信	第4章 3節 面積・体積・長さ 【知識及び技能】 ・いろいろな曲線で囲まれた図形の面積を求めることができたか。 ・立体の体積が定積分によって求められることを理解し、体積を求めることができたか。 ・曲線の長さが定積分によって求められることを理解し、曲線の長さを求めることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・yの値の範囲を用いた面積の求め方について、いろいろな視点で考察することができたか。 ・回転体の体積の求め方を考察することができたか。 ・曲線の長さを求める方法を利用して、速度を与えられたときの道のりを考察することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・yの値の範囲を用いた面積の求め方について、いろいろな視点で考えようとしたか。 ・回転体の体積の求め方を考えようとしたか。				15
定期考査			○	○		1
						合計
						175

高等学校 令和7年度（3 学年用）

教科 理科

科目 物理

教 科： 理科

科 目： 物理

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（ 1～5組：鈴木 彰浩 ）

使用教科書：（ 「高等学校 物理」（第一学習社） ）

- 教科 理科
- の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】

基礎的な原理・法則を理解し，観察・実験を通して理科的な探究技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】

自然界の事物・現象について科学的に考察し，自らの考えを的確に表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象について科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付ける。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に探究する力を身に付ける。	自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・物体の運動 【知識及び技能】 物体の運動の表し方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動を公式等で定量的に扱えるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に物体の運動を理解しようとする姿勢を育む。	・第Ⅰ章 第1節「平面運動と放物運動」	【知識・技能】 物体の基本的な運動がわかる。 【思考・判断・表現】 物体の基本的な運動について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動に興味をもち、積極的に調べようとしている。	○	○	○	6
	剛体のつり合い 【知識及び技能】 剛体のつり合いを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 力のモーメントや重心について説明できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に剛体のつり合いを理解しようとする姿勢を育む。	・第Ⅰ章 第2節「剛体のつり合い」	【知識・技能】 剛体にはたらく力のつり合いや重心について計算できる。 【思考・判断・表現】 力のモーメントのつり合いや物体の重心について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大きさのある剛体の重心やつり合いの関係について積極的に調べようとしている。	○	○	○	6
	運動量と力積 【知識及び技能】 物体がもつ運動量と力積について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の衝突・分裂や跳ね返るりについて説明できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に運動量や力積について理解しようとする姿勢を育む。	・第Ⅰ章 第3節「運動量の保存」	【知識・技能】 物体がもつ運動量と力積について基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 運動量と力積のベクトル表記、衝突による力学的エネルギーの変化について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の法則に基づき、物体の衝突・分裂について調べようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	円運動と単振動 【知識及び技能】 物体の円運動、慣性力、単振動について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の円運動の様子を説明できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に物体の円運動について考えようとする姿勢を育む。	・第Ⅰ章 第4節①②③「円運動と単振動」	【知識・技能】 円運動、単振動の性質について正しく理解している。 【思考・判断・表現】 円運動、単振動や見かけの力について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 円運動、単振動の性質を理解し、積極的に調べようとしている。	○	○	○	9
	万有引力 【知識及び技能】 万有引力の法則について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 万有引力の法則について理解し、惑星の重力と関連付けて考えることができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に万有引力の法則について理解しようとする姿勢を育む。	・第Ⅰ章 第4節④「万有引力による運動」	【知識・技能】 惑星や人工衛星の運動を運動の法則、万有引力の法則と紐づけて理解できる。 【思考・判断・表現】 惑星や人工衛星の運動について、ケプラーの法則と関連付けて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ニュートンが発見した万有引力の法則に興味をもち、天体や人工衛星の運動について調べようとしている。	○	○	○	5

2 学 期	気体分子の運動 【知識及び技能】 気体の状態方程式や熱力学の第1法則を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 気体の圧力を分子運動や熱力学の第1法則と関連付けて考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に気体の分子運動について調べようとする姿勢を育む。	・第Ⅰ章 第5節「気体の性質と分子の運動」	【知識・技能】 ボイル・シャルルの法則を用いて、気体の状態を計算することができる。 【思考・判断・表現】 気体の状態を、分子運動の観点から考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 気体のマクロな量と、ミクロな量の関係について積極的に調べ、考えようとしている。	○	○	○	10
	波の性質 【知識及び技能】 波を表す物理量や波の伝わり方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 正弦波の性質や波の独立性について説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 空間中を伝わる波の性質について積極的に知ろうとする姿勢を育む。	・第Ⅱ章 第1節「波の性質」	【知識・技能】 進行波の式の導出を理解することができる。 【思考・判断・表現】 波の独立性や干渉、反射、屈折、回折などの性質と関連付けながら、波の伝わり方考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 波の伝わり方に興味をもち、実際の波形について調べようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	音 【知識及び技能】 波の1つである音の性質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 空間中を伝わる音波やドップラー効果について理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの音波について考えようとする姿勢を育む。	・第Ⅱ章 第2節「音波」	【知識・技能】 音波の基本的な性質と併せて、ドップラー効果について理解している。 【思考・判断・表現】 音波の伝わり方や、音源や観測者が同一直線状を移動する際のドップラー効果について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りに存在する音や実際に確認できるドップラー効果にについて積極的に調べ、考えようとしている。	○	○	○	7
	光 【知識及び技能】 光の波動性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 レンズや鏡によって屈折、反射する光の性質について考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 光の伝わり方について積極的に知ろうとする姿勢を養う。	・第Ⅱ章 第3節「光波」	【知識・技能】 光の波動性である反射や屈折、回折について理解している。 【思考・判断・表現】 光の性質について、具体的な物理量である波長や振動数、速さと関連付けながら考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 光の波としての性質や光の伝わり方について興味をもち、調べようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	電界と電位 【知識及び技能】 電荷によって生じる電界や電位、力について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 電界と電位の関係を考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 静電気のはたらきや電界と磁界の類似性について積極的に知ろうとする姿勢を養う。	・第Ⅲ章 第1節 「電場と電位」	【知識・技能】 電界の定義やクーロンの法則について理解している。 【思考・判断・表現】 電荷が生じさせる電界と電位の関係と導体について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 静電気のはたらきについて定性的、定量的に検討し、積極的に調べようとしている。また、電界や電気力線について、磁界や磁力線と関連付けて調べようとしている。	○	○	○	10
	電流 【知識及び技能】 オームの法則やキルヒホッフの法則を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 電力と熱の関係を電流の性質と関連付けて考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの配線や半導体について積極的に知ろうとする姿勢を養う。	・第Ⅲ章 第2節「電流」	【知識・技能】 電気抵抗の定義を理解し、キルヒホッフの法則を用いて回路に流れる電流や回路にかかる電圧について理解している。 【思考・判断・表現】 自由電子の動きと発生する熱を関連付けてオームの法則を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電気に関わる法則に興味をもち、回路の性質や半導体について調べようとしている。	○	○	○	8
	電流と磁界 【知識及び技能】 電流と磁界の関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ローレンツ力や磁界中荷電粒子の運動について考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの磁界の利用例について考えようとする姿勢を養う。	・第Ⅲ章 第3節「電流と磁場」	【知識・技能】 磁界の定義や電流が磁界から受ける力について理解している。 【思考・判断・表現】 磁気力と磁界の関係やフレミングの左手の法則について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りのもので、電流が磁界から受ける力を利用したものについて興味を持ち、積極的に調べようとしている。	○	○	○	9

3 学 期	電磁誘導と電磁波 【知識及び技能】 電磁誘導の法則、コイルの自己誘導、相互誘導について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 電磁誘導の法則や交流電圧の発生について考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りにある交流回路について積極的に知ろうとする姿勢を養う。	・第三章 第4節「電磁誘導と交流」	【知識・技能】 誘導起電力について理解している。 【思考・判断・表現】 ローレンツ力や自己誘導、相互誘導と関連付けながら、誘導起電力を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家庭内で利用されている交流の電気に興味を持ち、調べようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	電子と光 【知識及び技能】 電荷や質量に着目し、電子の粒子性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 電子に関する歴史的な実験について考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 光の粒子性について積極的に知ろうとする姿勢を養う。	・第四章 第1節「電子と光」	【知識・技能】 電子の電荷や質量、及びその歴史的な測定方法について理解している。 【思考・判断・表現】 光電効果や光量子仮説について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電子の電荷や質量が求められた経緯について調べようとしている。	○	○	○	14
	原子・原子核・素粒子 【知識及び技能】 原子の構造について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 原子核の構成、同位体、放射線について考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 原子・素粒子の持つ性質について積極的に知ろうとする姿勢を養う。	・第四章 第2節「原子と原子核」	【知識・技能】 原子核の状態を陽子数や中性子数を用いて表す手法や、素粒子の種類や性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ボーアの原子モデルを基に、エネルギー準位や質量とエネルギーの等価性を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな原子モデルに興味を持ち、放射線やエネルギーとの関係について積極的に調べようとしている。	○	○	○	16
	物理基礎が築く世界 【知識及び技能】 物理基礎で学んだ事柄が日常生活や科学技術と結びついていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な技術が物理によって支えられていることを考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 物理学が日常のどのような場面に活用されているか積極的に知ろうとする姿勢を養う。	・終章「物理学が築く未来」	【知識・技能】 物理学の原理や法則が人間の生活を大きく変えるということを実例をと絡めて理解している。 【思考・判断・表現】 物理学の発展と科学技術の進展について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 これから期待される科学技術の発展や、未知の世界の探究に興味を持ち、積極的に調べようとしている。	○	○	○	2
	合計						140

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学

教科： 理科 科目： 化学 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組～ 5 組

教科担当者：（4 組：西村幸也）（5 組：西村幸也）

使用教科書：（ 実教出版 化学 ）

教科 理科	の目標：
【知識及び技能】	化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けている。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を身に付けている。	化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	1. 物質の状態と平衡 【知識及び技能】 物質の譲渡愛と平衡についての基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態と平衡についての事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	・指導事項 1 章 物質の状態と平衡 1 節 状態変化 2 節 固体の構造 3 節 気体の性質 4 節 溶液 ・教材 教科書 アクセスノート（副教材） 自作プリント ・一人1台端末の活用 課題の配布と回収	【知識・技能】 ・物質がどのように人間生活に関わり合いを持っているかを理解している。すでに学習している化学基礎との関連をしっかりと理解し，知識を身につけている。 ・物質の沸点，融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解している。また，状態変化に伴うエネルギーの出入りおよび状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解している。 ・結晶格子の概念および結晶の構造について理解している。 ・結晶格子の概念について，身近な物質を例にしたり，結晶構造のモデルを用いたりして，特徴を観察する技能を身につけている。 ・気体の体積と圧力や温度変化との関係を理解している。 ・溶液の性質の法則性，コロイド溶液に関する事象について理解し，知識を身につけている。 ・実験においては，沸点や融点の測定には減圧下や加圧下での沸騰実験などにも拡張，実験の測定結果から量的関係を的確に表現できる。 【思考・判断・表現】 ・日常生活について化学的なとらえ方をすることにより，安全で健康的な生活など豊かになっていることに気づき，今後の人間生活と化学との関わりを考えることができる。 ・物質の状態変化は，構成粒子の分子運動が関係していることや分子運動が温度・圧力によるものであることを論理的，総合的に判断できる。 ・状態間の平衡について，気液平衡や蒸気圧を例に考察することができる。 ・固体の構造の示す性質などについて化学的に考察し，その考えを説明することができる。 ・気体の法則や希薄溶液の示す性質などについて化学的に考察し，その考えを説明することができる。	○	○	○	25

		【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近にある化学物質が，どんな組成・成分でできているかを，日常生活や社会に関連させ，探究，考察しようとする。 ・化学に関連している物質が，人間生活のどの場面で関連しているかを探究することができる。 ・気体，液体，固体が示すさまざまな性質に着目し，共通の事象について規則性を予測しようとする。 ・気体が示す様々な性質に着目し，探究しようとする。 ・物質の状態変化を日常生活や社会に関連させ，探究，考察しようとする。 ・状態変化の現象について，粒子の運動と関連づけて探究しようとする。				
定期考查			○	○		1
2．物質の変化と平衡 【知識及び技能】 物質の変化と平衡についての基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の変化と平衡についての事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	・指導事項 2章 物質の変化と平衡 1節 化学反応と熱・光エネルギー 2節 電池と電気分解 3節 反応の速さとしくみ 4節 化学平衡 ・教材 - 教科書 - アクセスノート（副教材） - 自作プリント ・一人1台端末の活用 - 課題の配布と回収	【知識・技能】 ・化学反応における熱および光の発生や吸収は，反応前後における化学エネルギーの差から生じる事を理解している。 ・ヘスの法則について理解している。 ・化学発光や生物発光，光化学反応について理解している。 ・化学電池の仕組みについて理解している。 ・外部から加えた電気エネルギーによって，電極で酸化還元反応が起こること，また，その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係を理解している。 ・反応速度の表し方，反応速度に影響を与える要因などについて理解している。 ・化学反応とエネルギー，反応速度に関する観察，実験などを行い，その操作や記録などの技能が習得でき，結果から結論を導くことができる。 ・可逆反応や化学平衡の移動，水のイオン積，pH，弱酸，弱塩基の電離平衡，溶解度積などについて理解している。 ・化学平衡に関する観察，実験などを行い，その操作や記録などの技能が習得でき，結果から結論を導くことができる。 【思考・判断・表現】 ・化学反応に伴って熱，光，電気エネルギーの出入りがあること，温度・濃度・触媒の影響などを受けることを，代表的な物質の反応や性質の比較から推論することができる。また，導き出した考えを的確に表現することができる。 ・化学平衡になる典型的な反応について，実証的・論理的に分析し，科学的に考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学反応に伴うさまざまなエネルギーの出入りがあること，温度・濃度・触媒などが反応の速さに影響することを意欲的に探究・考察しようとする。 ・化学平衡などの複雑なしくみがあることを，意欲的に探究・考察しようとする。	○	○	○	25
定期考查			○	○		1

2 学 期	3. 無機物質 【知識及び技能】 無機物質についての基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 無機物質についての事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	・指導事項 第3章 無機物質 1節 周期表 2節 非金属元素 3節 金属元素 ・教材 教科書 アクセスノート（副教材） 自作プリント ・一人1台端末の活用 課題の配布と回収	【知識・技能】 ・非金属元素の単体・化合物の性質や反応について、周期表と関連づけながら理解し、知識を身につけている。 ・無機物質の性質や反応について、観察実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱い方が身についている。 ・観察、実験過程や結果から生じる問題や発見事項について、自ら考えを導き出して、新しい課題を設定することができる。 ・無機物質が実験を通してどのように人間生活に利用されているかを知る。 ・金属元素の単体・化合物の性質や反応について、周期表と関連づけながら理解し、知識を身につけている。 ・典型元素と遷移元素の特徴を正確に把握できている。 ・無機物質がその特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解し、その知識を応用することができる。 ・無機物質の性質や反応について、観察実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱い方が身についている。 ・観察、実験過程や結果から生じる問題や発見事項について、自ら考えを導き出して、新しい課題を設定することができる。 ・無機物質が実験を通してどのように人間生活に利用されているかを知る。 【思考・判断・表現】 ・無機物質の性質や反応などについて、周期表と関連づけて考察することができる。 ・日常生活と関わりの深い無機物質について、観察実験を通して、規則性を見出し、さまざまな事象が生じる要因やしくみを科学的に考察して報告書にまとめることができる。 ・無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え、科学的に考察、判断できる。 ・日常生活と関わりの深い無機物質について、観察実験を通して、規則性を見出し、さまざまな事象が生じる要因やしくみを科学的に考察して報告書にまとめることができる。 ・無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え、科学的に考察、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・無機物質に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、それらに関する基本的な概念や法則を意欲的に探究しようとする。また、観察・実験を行い探究しようとする。 ・無機物質について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させたり、化学工業と関連づけて意欲的に探究したりしようとする。	○	○	○	27
	定期考查			○	○		1
	4. 有機化合物 【知識及び技能】 有機物質についての基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化合物についての事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	・指導事項 第4章 有機化合物 1節 有機化合物の特徴と分類 2節 脂肪族炭化水素 3節 酸素を含む脂肪族化合物 4節 芳香族化合物 ・教材 教科書 アクセスノート（副教材） 自作プリント ・一人1台端末の活用 課題の配布と回収	【知識・技能】 ・炭化水素の分類とその反応性の関係や構造異性体の関係を理解している。 ・有機化合物の成分元素の確認や組成式・分子式・構造式の決定について理解している。 ・脂肪族化合物の性質や反応性について、日常生活に関連させて理解している。 ・脂肪族化合物の性質や反応について、観察、実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱い方が身についている。 ・観察、実験の過程や結果から生じる問題や発見した事項について、自らの考えを導き出した、新しい課題を設定することができる。 ・芳香族化合物の分類とその反応性の関係や異性体、配向性の関係を理解している。 ・芳香族化合物の性質が置換基により特徴づけられることを具体的な物質で理解し、さらに芳香族化合物相互の関連性について理解している。 ・芳香族化合物の性質や反応性について、日常生活に関連させて理解している。 ・芳香族化合物の性質や反応について、観察、実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱い方が身についている。 ・観察、実験の過程や結果から生じる問題や発見した事項について、自らの考えを導き出した、新しい課題を設定することができる。				

3 学 期			【思考・判断・表現】 ・炭化水素，官能基をもつ有機化合物の性質や反応性が構造に特徴づけられることを見出し，構造異性体，鏡像異性体などを論理的に考察し，説明することができる。 ・構造式によって，その化合物の性質や反応性について推論することができる。 ・ベンゼン，置換基をもつ芳香族化合物の性質や反応性が構造に特徴づけられることを見出し，異性体，配向性などを論理的に考察し，説明することができる。 ・構造式によって，その化合物の性質や反応性について推論することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・脂肪族化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち，その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。 ・脂肪族化合物について観察，実験を行うとともに，それらを日常生活と関連させて探究しようとする。 ・芳香族化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち，その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。 ・芳香族化合物について観察，実験を行うとともに，それらを日常生活と関連させて探究しようとする。	○	○	○	27
	定期考查			○	○		1
3 学 期	4. 高分子化合物 【知識及び技能】 高分子化合物についての基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物についての事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	・指導事項 第5章 高分子化合物 1節 高分子化合物 2節 天然高分子化合物 3節 合成高分子化合物 ・教材 教科書 アクセスノート（副教材） 自作プリント ・一人1台端末の活用 課題の配布と回収	【知識・技能】 ・天然高分子化合物の構造や性質について理解し，知識を身につけている。 ・天然高分子族化合物の性質や反応について，観察，実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに，実験器具の選定や扱い方が身につけている。 ・観察，実験の過程や結果から生じる問題や発見した事項について，自らの考えを導き出した，新しい課題を設定することができる。 ・合成高分子化合物の構造，性質および合成について理解し，知識を身につけている。 ・合成高分子化合物の性質や反応について，観察，実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに，実験器具の選定や扱い方が身につけている。 ・観察，実験の過程や結果から生じる問題や発見した事項について，自らの考えを導き出した，新しい課題を設定することができる。 【思考・判断・表現】 ・天然高分子化合物の性質や反応性が，その構造および結合の状態に特徴づけられる面があることを見出し，いくつかの天然高分子化合物について具体的に考察することができる。 ・合成高分子化合物の性質や反応性が，その構造および結合の状態に特徴づけられる面があることを見出し，いくつかの合成高分子化合物について具体的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・天然高分子化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち，その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。また，観察・実験を行い探究しようとする。 ・合成高分子化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち，その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。また，観察・実験を行い探究しようとする。	○	○	○	30

	5. 様々な物質と人間生活 【知識及び技能】 様々な物質と人間生活についての基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な物質と人間生活についての事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	・指導事項 終章 ・教材 教科書 自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・化学の発展により物質をつくり出すことやそれを利用してきたことで、日常生活が豊かになり便利になっていることを理解している。 ・これから築く未来について、化学の貢献が必要不可欠であり、持続可能な社会・発展を実現する化学へと繋がることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・化学がどのように発展してきたかを考察し、今後の日常生活との関わりについて、様々な事象を化学的に考察し、導きだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な分野と化学の関わりやこれからの化学の発展について興味関心や探究心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	2
							合計 140

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教 科： 理科 科 目： 生物 単位数： 4

対象学年組：第 3 学年 4 組～ 5 組

教科担当者：（ 4組：柏倉 （ 5組：柏倉

使用教科書：（ 高等学校 生物（第一学習社）

教科 生物 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

科目 生物の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1. 生命の起源と細胞の進化 ①生命の誕生 ②細胞の進化 資料1 生物の進化と地球の大気組成の変化との関係を考えよう	・原始地球とその環境、化学進化 ・原核細胞と真核細胞の誕生 ・生物の進化と地球環境の変化との関係を見いだす（資料1）	【知識・技能】 ・原始地球の環境における有機物の生成に関する実験にもとづいて、生命の起源に関する考えを理解している。 ・生命が誕生したと考えられる場所について理解している。 ・光合成生物の出現が地球環境に与えた影響について科学的に理解している。 ・細胞内共生について理解している。 【思考・判断・表現】 ・大気中の酸素濃度の変化を示す資料にもとづいて、シアノバクテリアの繁栄や真核生物の出現・繁栄が大気組成の変化と関わりがあることを見いだして説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・細胞の進化の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	5
	2. 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 ①遺伝子とその変化 資料2 遺伝子の変化と形質との関係について考えよう ②遺伝子の組み合わせの変化 資料3 連鎖している遺伝子の遺伝について考えよう 1. 生物の系統 ①生物の系統と分類 資料4 アミノ酸配列の違いをもとに系統関係が推定できるか考えよう 資料5 平均距離法を用いて系統樹を推定しよう ②細菌（バクテリア）とアーキア（古細菌） ③真核生物（ユーカリア）	・遺伝子の変化と形質との関係を見いだす（資料2） ・遺伝的多型 ・減数分裂と染色体の組み合わせ ・連鎖している遺伝子の組み合わせが変化することを見いだす（資料3） ・組換えと組換え価 ・アミノ酸配列の違いをもとに、系統関係を推定できることを見いだす（資料4） ・分子時計 ・平均距離法により系統樹を作成する（資料5） ・分子系統樹と生物の系統 ・細菌、アーキア、真核生物 ・アミノ酸配列の違いをもとに、系統関係を推定できることを見いだす（資料4） ・分子時計 ・平均距離法により系統樹を作成する（資料5） ・分子系統樹と生物の系統 ・細菌、アーキア、真核生物	【知識・技能】 ・突然変異について理解している。 ・DNAの塩基配列の変化によってアミノ酸配列が変化するしくみを理解している。 ・一塩基多型の存在やその利用について理解している。 ・生物の種によって染色体の数や形、核相が決まっていることを理解している。 ・遺伝子座と遺伝子の関係を理解している。 ・減数分裂における核相の変化について理解している。 ・減数分裂によって生じる配偶子の染色体の組み合わせについて理解する。 ・受精によって生じる染色体の組み合わせについて理解している。 ・遺伝子の連鎖について理解している。 ・組換えが生じることによって、配偶子の染色体構成が多様化することを理解している。 ・組み換え価について理解している。 ・三点交雑の結果から遺伝子間の相対的な位置がわかること、これを用いて染色体地図が描けることを理解している。	○	○	○	22

			【主体的に学習に取り組む態度】 ・種間に共通してみられるタンパク質のアミノ酸配列の違いにもとづいて系統関係を推定できるのはなぜか，資料にもとづいて論理的に説明しようとしている（資料4）。 ・平均距離法を用いて試行錯誤しながら系統樹を推定しようとしている（資料5）。 ・生物の系統と分類の学習において，見通しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・各ドメインの特徴の学習において，見通しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考えを調整しながら理解しようとしている。				
	定期考査			○	○		1
	2. 人類の系統と進化 ①人類の系統と進化 資料6 類人猿と人類の特徴を比較し，人類の進化の過程について考えよう 第1節 生体物質と細胞 ①細胞を構成する物質 2. タンパク質の構造と性質 ①タンパク質の構造と性質 3. 生命現象とタンパク質 ①酵素 実験4 カタラーゼの働き 実験5 外的条件がカタラーゼに与える影響について考えよう ②膜輸送タンパク質 ③受容体 1. 代謝とエネルギー ①同化と異化 2. 炭酸同化 ①光合成と葉緑体 実験6 緑葉に含まれる色素 ②光合成の過程 資料8 植物の光合成におけるエネルギーの流れを考えよう 第3節 異化 ①呼吸とミトコンドリア ②発酵	・霊長類の進化 ・類人猿と人類の特徴を比較し，人類の進化の過程について考察する（資料6） ・人類の進化と拡散 ・細胞を構成する物質 ・界面活性剤を用いた実験から，生体膜の構造について考察する（資料7） ・細胞骨格と細胞小器官 ・アミノ酸とペプチド結合 ・タンパク質の構造と機能 ・基質特異性と立体構造，補酵素 ・カタラーゼの働きを確認する（実験4） ・外的条件がカタラーゼに与える影響について考察する（実験5） ・酵素反応と温度，pH ・酵素反応の速度と基質濃度，酵素濃度 ・競争的阻害と非競争的阻害 ・細胞膜の性質と物質の透過 ・膜輸送タンパク質，受容体 ・ミトコンドリアの構造 ・呼吸におけるエネルギーの流れを見いだす（資料9） ・解糖系，クエン酸回路，電子伝達系 ・脱水素酵素を用いて酸化還元反応を確認する（実験7） ・さまざまな呼吸基質と呼吸商 ・アルコール発酵と乳酸発酵の過程 ・アルコール発酵を確認する（実験8）	【知識・技能】 ・霊長類の進化の過程を理解している。 ・霊長類および類人猿の形質の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・霊長類に関する資料にもとづいて，ヒトを含む人類の形態的特徴と進化の過程に関連があることに気づき，人類の進化の道筋について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ヒトを含む人類の形態的特徴と進化の過程の関係を，資料にもとづいて論理的に説明しようとしている。 【知識・技能】 ・生物を構成する主な物質は，水，タンパク質，脂質，炭水化物であることを理解している。 ・水，タンパク質，脂質，炭水化物の特徴を理解している。 ・生体膜は，リン脂質二重層にさまざまなタンパク質がモザイク状に分布したものであることを理解している。 ・真核細胞内にみられる3種類の細胞骨格の特徴について理解している。 ・さまざまな細胞内構造の働きや構造の知識を身につける。 ・タンパク質は，アミノ酸がペプチド結合によって多数つながった物質であることを理解している。 ・アミノ酸やペプチド結合の構造を理解している。 ・タンパク質の一次構造，二次構造，三次構造，四次構造について理解している。 ・タンパク質の立体構造は，機能と密接に関連していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・界面活性剤を用いた実験から生体膜の構造を見いだし，生体膜がどのようにして細胞内外を隔てているか説明することができる（資料7）。 ・真核細胞内の細胞骨格や構造体の特徴について説明することができる。 ・生体内に存在するタンパク質がそれぞれ特有の働きをもつ理由を説明することができる。	○	○	○	

脂質分子と生体膜の性質や構造について資料にもとづいて論理的に説明しようとしている(資料7)。

- ・細胞を構成する物質の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

脂質分子と生体膜の性質や構造について資料にもとづいて論理的に説明しようとしている(資料7)。

- ・細胞を構成する物質の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。
- ・タンパク質の構造と性質の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。

【知識・技能】

- ・酵素が基質と結合することで活性化エネルギーが小さくなり、反応が進みやすくなることを理解している。
- ・酵素の基質特異性と立体構造との関係について理解している。
- ・補酵素について理解している。
- ・カタラーゼの働きを確かめる実験を正しく行うことができる(実験4、実験5)。
- ・酵素の最適温度、最適pHについて理解している。
- ・酵素反応の阻害には、競争的阻害と非競争的阻害があることを理解している。
- ・酵素反応ではフィードバック調節がみられることを理解している。
- ・選択的透過性について理解している。
- ・受動輸送と能動輸送との違いを理解している。
- ・膜輸送タンパク質の働きについて理解している。
- ・ナトリウムポンプの反応の流れを理解している。
- ・エンドサイトーシスとエキソサイトーシスについて理解している。
- ・それぞれの受容体が働くしくみを理解している。

【思考・判断・表現】

- ・加熱によるカタラーゼの働きの変化を検証する実験を立案することができる(実験5)。
- ・立案した実験結果から、酵素の基質特異性が、立体構造と密接に関わっており、立体構造が変化することによって酵素が失活することを考察することができる(実験5)。
- ・酵素の競争的阻害と非競争的阻害の特徴について説明することができる。
- ・受動輸送と能動輸送との違いを説明することができる。
- ・膜輸送タンパク質が物質を輸送するしくみを説明することができる。

- ・チャンネルと輸送体との違いを説明することができる。
- ・細胞膜に存在する3種類の受容体について、その特徴と、情報伝達のしくみをそれぞれ説明することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

加熱によるカタラーゼの働きの変化を検証する実験に、試行錯誤しながら積極的に取り組んでいる（実験5）。

		【知識・技能】 ・代謝におけるエネルギーの流れについて理解している。 ・同化と異化の違いを理解している。 ・代謝では、ATP、NADP⁺、NAD⁺、FADがエネルギーの受け渡しに関わることを理解している。 ・葉緑体の構造を理解している。 ・植物の葉緑体に含まれる光合成色素の種類と色について理解している。 ・吸収スペクトルと作用スペクトルについて理解している。 ・薄層クロマトグラフィーによって植物の色素を分離できる（実験6）。 ・Rf値から色素を同定できるようになる（実験6）。 ・チラコイドで起こる反応の過程と消費される物質と生じる物質を理解している。 ・カルビン回路の過程と消費される物質と生じる物質を理解している。 ・高温や乾燥に適応した植物における二酸化炭素固定の過程について理解している。 ・植物の光合成と細菌の光合成・化学合成との違いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・代謝には同化と異化があることを理解し、両者の違いを説明することができる。 ・光合成色素の吸収スペクトルと作用スペクトルとの関係から、光合成色素によって吸収された光エネルギーが光合成に利用されていることを推測できる。 ・緑葉に含まれる光合成色素を分離し、分離された色素の色とRf値から色素の種類を推測することができる（実験6）。 ・光合成の概要を示した資料にもとづいて、光合成の過程におけるエネルギーの流れを説明することができる（資料8）。 ・光化学系Ⅱ、電子伝達系、光化学系Ⅰで起こる反応と、ATP合成の関係について説明することができる。 ・カルビン回路で起こる反応について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 同化と異化の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・光合成と葉緑体、光合成の過程の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。				
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	第1節 DNAの複製 ①DNAの構造と複製 第2節 遺伝子の発現 ①転写 ②翻訳 第1節 遺伝子の発現調節 ①遺伝子の発現調節 第2節 発生と遺伝子の発現 ①動物の配偶子形成と受精 ②ショウジョウバエの発生における遺伝子の発現調節 ③カエルの発生における遺伝子の発現調節 ④発生過程にみられる多様性と共通性	・DNAの構造 ・DNAの複製 ・真核生物における転写とスプライシング，翻訳 ・原核生物における転写と翻訳 ・大腸菌が必要に応じて遺伝子発現を調節していることを見いだす（資料10） ・原核生物と真核生物における遺伝子の発現調節 ・動物の配偶子形成と受精 ・ウニの受精を観察する（観察1） ・母性因子と分節遺伝子 ・分節遺伝子の発現のしくみを見いだす（資料11） ・ホメオティック遺伝子 ・カエルの発生 ・中胚葉誘導，神経誘導 ・誘導の連鎖による器官形成 ・Hox遺伝子群	【知識・技能】 ・調節タンパク質による遺伝子の発現調節について理解している。 ・真核生物における遺伝子の発現調節について理解している。 ・動物の配偶子の形成過程を理解している。 ・ウニの受精の概要を理解している。 ・ウニの受精卵を用いて，受精膜が形成されるようすを確認する（観察1）。 ・発生は，体軸の形成，胚の区画化，分化の方向の決定という過程を経て進むことを理解している。 ・母性因子の濃度勾配にもとづいて体軸が決定されることを理解している。 ・発生過程において，調節遺伝子が段階的に発現することによって胚の区画化が起こることを理解している。 ・ショウジョウバエの各体節の構造は，ホメオティック遺伝子群の発現パターンにより決定されることを理解している。 ・カエルの発生過程を理解している。 ・中胚葉誘導と神経誘導について理解している。 ・器官形成のしくみには，生物間で共通性がみられることを理解している。 ・Hox遺伝子群について理解している。 【思考・判断・表現】 ・遺伝子の発現調節に関する資料にもとづいて，状況に応じて必要な遺伝子の発現調節が行われていることを見いだして説明することができる（資料10）。 ・神経誘導のしくみを説明することができる。 ・誘導の連鎖によって器官が形成されることを，眼の形成を例に説明することができる。 ・器官形成には複数の遺伝子の発現調節が大きく関わっていることを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遺伝子の発現調節についての学習において，見通しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 【知識・技能】 ・クローニングの方法や，用いる酵素などの働きを理解している。 ・PCR法の原理や，用いる酵素などの働きを理解している。 ・電気泳動法の原理を理解している。 ・塩基配列解析の原理や，用いる酵素などの働きを理解している。 ・遺伝子組換えによって作出された生物が，農業や医療に应用されていることを理解している。 ・DNA型鑑定の原理を理解している。 ・遺伝子を扱う際の課題を理解している。 【思考・判断・表現】 ・クローニングの方法やそのしくみについて説明することができる。 ・電気泳動法や塩基配列解析など，遺伝子の構造や発現の解析方法の原理について説明することができる。 ・遺伝子導入の原理や遺伝子の構造・発現の改変などによる解析方法の原理について説明することができる。 ・遺伝子を扱う技術の進歩によって，どのような課題が生じているか説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遺伝子の機能を解析する方法の学習において，見通しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考	○	○	○	
	第1節 遺伝子を扱う技術 ①遺伝子の単離と増幅 ②遺伝子の構造や発現を解析する方法 ③遺伝子の機能を解析する方法 第2節 遺伝子を扱う技術の応用 ①人間生活への応用 ②遺伝子を扱う際の課題	・クローニング ・PCR法 ・電気泳動法 ・塩基配列の解析法 ・細胞へ遺伝子を導入する（実験9） ・遺伝子の解析方法 ・食糧生産や医療への応用 ・DNA型鑑定 ・遺伝子を扱う際の課題	【知識・技能】 ・クローニングの方法や，用いる酵素などの働きを理解している。 ・PCR法の原理や，用いる酵素などの働きを理解している。 ・電気泳動法の原理を理解している。 ・塩基配列解析の原理や，用いる酵素などの働きを理解している。 ・遺伝子組換えによって作出された生物が，農業や医療に应用されていることを理解している。 ・DNA型鑑定の原理を理解している。 ・遺伝子を扱う際の課題を理解している。 【思考・判断・表現】 ・クローニングの方法やそのしくみについて説明することができる。 ・電気泳動法や塩基配列解析など，遺伝子の構造や発現の解析方法の原理について説明することができる。 ・遺伝子導入の原理や遺伝子の構造・発現の改変などによる解析方法の原理について説明することができる。 ・遺伝子を扱う技術の進歩によって，どのような課題が生じているか説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遺伝子の機能を解析する方法の学習において，見通しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考	○	○	○	27
2 学 期							

			えを調整しながら理解しようとしている。 ・遺伝子を扱う技術の人間生活への応用やその課題の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。				
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	第1節 刺激の受容と反応 ①刺激の受容と反応 ②神経系とニューロン ③ニューロンによる電気的な信号の生成とそれを伝えるしくみ ④受容器 ⑤中枢神経系の構造と反応 ⑥効果器	・ニューロンの構造 ・活動電位，興奮の伝導と伝達 ・EPSPとIPSP，シナプス後電位の加重 ・眼の構造と光を受容するしくみ ・耳の構造と聴覚が生じるしくみ ・右眼の盲斑の形を調べる（実験10） ・脳の構造と機能，脊髄と反射 ・骨格筋の構造 ・神経筋標本を用いて，運動ニューロンと筋収縮の関係を見いだす（資料12） ・筋収縮が起こるしくみ ・ニューロンの構造 ・活動電位，興奮の伝導と伝達 ・EPSPとIPSP，シナプス後電位の加重 ・眼の構造と光を受容するしくみ ・耳の構造と聴覚が生じるしくみ ・右眼の盲斑の形を調べる（実験10） ・脳の構造と機能，脊髄と反射 ・骨格筋の構造 ・神経筋標本を用いて，運動ニューロンと筋収縮の関係を見いだす（資料12） ・筋収縮が起こるしくみ	【知識・技能】 ・動物は受容器で刺激を受容し，中枢神経系を経て効果器に情報を伝えることで，刺激に対して反応していることを理解している。 ・ニューロンの構造について理解している。 ・有髄神経繊維の構造について理解している。 ・ヒトの神経系の構成について理解している。 ・全か無かの法則について理解している。 ・刺激の強さに応じて，感覚の強さが変化するしくみを理解している。 ・跳躍伝導のしくみを理解している。 ・シナプス後電位の加重について理解している。 ・ヒトの各受容器に対する適刺激を理解している。 ・刺激が中枢に伝わる過程とその特徴について理解している。 ・眼の構造を理解している。 ・桿体細胞と錐体細胞の分布や，吸収する光の特徴を理解している。 ・明順応と暗順応におけるロドプシンの分解と合成について理解している。 ・眼の遠近調節における水晶体の厚さの変化について理解している。 ・盲斑検査を実施する（実験10）。 ・耳の構造と聴覚が生じるしくみを理解している。 ・平衡覚が生じるしくみを理解している。 ・嗅覚が生じるしくみを理解している。 ・脳の構造と各領域の働きを理解している。 ・シナプス可塑性による記憶の形成について理解している。 ・脊髄の構造について理解している。 ・反射のしくみと反射弓について理解している。	○	○	○	27
				○	○	○	

	第2節 動物の行動 ①動物の行動 ②生得的行動 ③習得的行動と学習 第1節 植物と環境 ①植物の刺激の受容と情報の伝達 第2節 植物の一生と植物ホルモン ①被子植物の受精と胚発生 ②種子の発芽と光環境 ③植物の環境応答と成長 ④花芽形成と花の形成 ⑤果実の成長と成熟，落葉・落果	・生得的行動と習得的行動 ・固定的動作パターン，中枢パターン発生器 ・慣れが起こるしくみを見いだす（資料13） ・脱慣れと鋭敏化 ・さまざまな習得的行動 ・被子植物の受精と胚発生 ・種子の休眠と発芽 ・光発芽種子と暗発芽種子，光受容体 ・オーキシンの働き ・光屈性，重力屈性 ・花芽形成と光 ・ABCモデル ・果実の成長と成熟，落葉・落果	・骨格筋の構造を理解している。 ・筋収縮において，フィラメントが滑り込むしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・静止電位が生じるしくみを説明することができる。 ・活動電位が生じるしくみを，チャネルの働きとイオンの流れと関連づけて説明することができる。 ・ニューロンに生じる興奮は，全か無かの法則に従うことを説明することができる。 ・興奮の伝導のしくみを説明することができる。 ・シナプスを介した興奮の伝達を，チャネルとイオンの動きから説明することができる。 ・ロドプシンの変化と明順応・暗順応について説明することができる。 ・記憶の形成のしくみについて説明することができる。 ・神経筋標本に関する資料にもとづいて，運動ニューロンの興奮頻度と筋収縮との関連について説明することができる（資料12）。 ・筋収縮において，フィラメントが滑り込むしくみについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・神経系とニューロン，ニューロンによる電気的な信号の生成とそれを伝えるしくみの学習において，見通しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・受容器の学習において，見通しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・中枢神経系の構造と反応の学習において，見通しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 【知識・技能】 ・生得的行動と習得的行動の特徴を，神経回路の変化の有無の違いから理解している。 ・かぎ刺激によって特定の行動が引き起こされることを理解している。 ・固定的動作パターンについて理解している。 ・アメフラシの慣れ，脱慣れ，鋭敏化のしくみについて理解している。 ・古典的条件付けについて理解している。 ・刷込みや臨界期について理解している。 ・試行錯誤と知能行動について理解している。 【思考・判断】 ・バッタの飛翔に関わるCPGのモデルをもとに，リズムカルな運動が生じるしくみを説明することができる。 ・アメフラシのえら引っ込め反射に関する資料にもとづいて，えら引っ込め反射				
--	---	--	---	--	--	--	--

				に関わる神経系の電気的特性を見だし、慣れが生じる原因を説明することができる（資料13）。 ・脱慣れ，鋭敏化のしくみについてシナプス可塑性に関連づけて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料にもとづいて，慣れが生じる原因を論理的に説明しようとしている（資料13）。 ・生得的行動の学習において，見通しをもって取り組んだり，学びを振り返ったりするなど，自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 【知識・技能】 ・植物ホルモンの特徴について理解している。 ・植物体内での物質輸送のしくみについて理解している。 ・被子植物の配偶子形成と重複受精について理解している。 ・被子植物の胚発生の過程を理解している。 ・頂端－基部軸が形成されるしくみを理解している。 ・種子形成の過程について理解している。 ・種子の休眠と発芽には植物ホルモンが関与することを理解している。 ・畝発芽種子における発芽と光の関係について理解している。 ・畝発芽のしくみにより，光発芽種子をつくる植物は生育に適さない光環境で発芽しないようになっていることを理解している。 ・団一キシンが極性移動することを理解している。 ・植物の屈性と傾性がどのような現象かを理解している。 ・畝屈性にはフォトトロピンが関わることを理解している。 ・重力屈性のしくみを理解している。 ・畝屈性に関する研究史について理解している。 ・気孔の開閉のしくみを理解している。 ・畝周性について理解している。 ・苳芽形成には連続した暗期が必要であることを理解している。 ・苳芽形成に関わる光受容体を理解している。 ・苳芽形成を促進するタンパク質の働きについて理解している。 ・春化について理解している。 ・植物のホメオティック突然変異体を，ABCモデルと関連づけて理解している。 ・果実の成熟や落葉，落果と植物ホルモンの関係を理解している。 【思考・判断】 ・植物ホルモンの特徴について理解している。 ・植物体内での物質輸送のしくみについて理解している。 ・被子植物の配偶子形成と重複受精について理解している。 ・被子植物の胚発生の過程を理解している。 ・頂端－基部軸が形成されるしくみを理解している。 ・種子形成の過程について理解している。 ・種子の休眠と発芽には植物ホルモンが関与することを理解している。 ・畝発芽種子における発芽と光の関係について理解している。 ・畝発芽のしくみにより，光発芽種子をつくる植物は生育に適さない光環境で発芽しないようになっていることを理解している。 ・団一キシンが極性移動することを理解している。 ・植物の屈性と傾性がどのような現象かを理解している。 ・畝屈性にはフォトトロピンが関わることを理解している。 ・重力屈性のしくみを理解している。 ・畝屈性に関する研究史について理解している。 ・気孔の開閉のしくみを理解している。 ・畝周性について理解している。				
--	--	--	--	---	--	--	--	--

[illegible]

高等学校 令和7年度（3学年用）

教科

保健体育

科目

体育

教科

保健体育

科目

体育

単位数

2

単位

対象学年組

第 3 学年

1 組～

5 組

教科担当者

（1組～5組：村井・林・岡・下村・稲垣）

使用教科書

「現代高等保健体育」

教科

保健体育

の目標

- 【知識及び技能】

各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指すし、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	B 体づくり運動 【知識及び技能】 (1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○ 体を動かす楽しさや心地よさを味わう ○ 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する ○ 目的に適した運動の計画を立て取り組む 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 体づくり運動に自主的に取り組む ・ 互いに助け合い教え合おうとする ・ 一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする ・ 話し合いに貢献しようとする ・ 健康・安全を確保する	○	○	○	4
	種目選択学習 E球技 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する ※ゴール型 ・ 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする ※ネット型 ・ 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 球技に自主的に取り組む ・ フェアなプレイを大切にしようとする ・ 作戦などについての話し合いに貢献しようとする ・ 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする ・ 互いに助け合い教え合おうとする ・ 健康・安全を確保する	○	○	○	12

	【思考力、判断力、表現力等】 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。		・ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・ 健康・安全を確保しようとしている。				
D 水泳	【知識及び技能】 (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	・ 指導事項 ・ 個人ワーク ・ グループワーク ・ 学習カード記入	【知識・技能】 ○ 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 効率的に泳ぐ ※クロール ・ 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする ※平泳ぎ ・ 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする 【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 水泳に自主的に取り組む ・ 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする ・ 自己の責任を果たそうとする ・ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ・ 水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する	○	○	○	10
E球技	【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・ 指導事項 ・ 個人ワーク ・ グループワーク ・ 学習カード記入	【知識・技能】 ○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する ※ゴール型 ・ 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする ※ネット型 ・ 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする ※ベースボール型 ・ 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をする 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 球技に自主的に取り組む ・ フェアなプレイを大切にしようとする ・ 作戦などについての話合いに貢献しようとする ・ 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする ・ 互いに助け合い教え合おうとする ・ 健康・安全を確保する	○	○	○	24

2 学 期	ようとするこ、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。						
	H体育理論 【知識及び技能】 ア スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 (ア) スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 (イ) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。 (ウ) 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること。 (エ) スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。、 【思考力、判断力、表現力等】 イ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ウ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	・指導事項 ・教材 ・ワークシート記入	○ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する ※ スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること ※ 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること ※ 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること ※ スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること	○	○	○	4
	球技 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保すること。	・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入	【知識・技能】 ○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する ※ゴール型 - 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする ※ネット型 - 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする ※ベースボール型 - 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をする 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 - 球技に自主的に取り組む - フェアなプレイを大切にしようとする - 作戦などについての話合いに貢献しようとする - 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする - 互いに助け合い教え合おうとする - 健康・安全を確保する	○	○	○	16
						合計	
							70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科			外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ
教科：	外国語	科 目：	英語コミュニケーションⅢ	単位数：	4 単位
対象学年組：	第 3 学年 1 組～	5 組			
教科担当者：	（1組：太田・西塚）	（23組：太田・西塚・公文）	（45組：太田・西塚・公文）		
使用教科書：	（ Power On English Communication Ⅲ （東京書籍） ）				
教科	外国語	の目標：			

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙,表現,文法,言語の働きなどの理解を深めるとともに,これらの知識を聞くこと,読むこと,話すこと,書くことによる実際のコミュニケーションにおいて,目的や場面,状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面,状況などに応じて,日常的な話題や社会的な話題について,外国語で情報や考えなどの概要や要点,詳細,話し手や書き手の意図などを的確に理解したり,これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め,聞き手,読み手,話し手,書き手に配慮しながら,主体的,自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
外国語の音声や語彙,表現,文法,言語の働きなどの理解を深めるとともに,これらの知識を聞くこと,読むこと,話すこと,書くことによる実際のコミュニケーションにおいて,目的や場面,状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面,状況などに応じて,日常的な話題や社会的な話題について,外国語で情報や考えなどの概要や要点,詳細,話し手や書き手の意図などを的確に理解したり,これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め,聞き手,読み手,話し手,書き手に配慮しながら,主体的,自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Lesson 1 Library of the Future 【知識及び技能】 現在分詞の分詞構文,関係副詞whereを用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 理想の図書館について,情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・日本の最近の図書館とニューヨーク公共図書館についての新聞記事 ・現在分詞の分詞構文,関係副詞where ・説明する,理由を述べる,紹介する,発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考査による現在形・過去形に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】「ニューヨーク公共図書館」や「日本の図書館」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	10
	Lesson 2 History Maker Otani Shohei 【知識及び技能】 現在完了進行形,be動詞＋to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 自分の好きなスポーツ選手について,情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・メジャーリーガーの大谷翔平選手の人物伝。 ・現在完了進行形,be動詞＋to不定詞 ・感謝する,質問する,紹介する,発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考査による現在完了進行形,be動詞＋to不定詞に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】「生き物の医療研究」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	12
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals 【知識及び技能】 比較表現,S＋V〔使役〕＋O＋C〔原形不定詞〕を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 興味のある職業について,情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・動物の歯科医の仕事についての科学記事 ・比較表現,S＋V〔使役〕＋O＋C〔原形不定詞〕 ・質問する,依頼する,相づちを打つ,感謝する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考査による動名詞、不定詞に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「スポーツ選手のインタビュー」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	14
	Lesson 4 Nature Photographer in Alaska 【知識及び技能】 関係代名詞の非制限用法,関係代名詞what,分詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が選んだ松本紀生さんの写真について,情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・写真家の松本紀生さんの半生や作品についての雑誌記事 ・関係代名詞の非制限用法関係代名詞what,分詞構文 ・説明する,紹介する,理由を述べる,発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考査による関係代名詞の非制限用法,関係代名詞what,分詞構文の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「日本のマンガ」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	14
	定期考査		○			○			○	○		1

2 学 期	Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think 【知識及び技能】 S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イグ・ノーベル賞を受賞した研究について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・イグ・ノーベル賞を受賞した研究についてのALTによる学級だより ・S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身 ・質問する, 紹介する, 説明する, 意見を述べる, 発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による情報や自分の考えなどを多様な語句や文を用いて, 詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 「日本の伝統技術貢献」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	13
	Lesson 6 Where Does Halloween Come from? 【知識及び技能】 追加」を表すディスコースマーカーの意味や働きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ハロウィーンの商業主義への批判に対して、賛成または反対の立場を選び, 情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源や歴史についての論説文 ・ディスコースマーカー「追加」 ・説明する, 意見を述べる, 賛成する, 反対する, 理由を述べる, 発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による関係副詞、過去完了に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 日本でのハロウィーンの様子やハウィーンの起源と歴史について, 話や文章の展開に注意しながら, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたりできる 【学びに向かう力、人間性等】提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	14
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World? 【知識及び技能】 客観的な事実と筆者の意見の区別を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 賛成または反対の立場を明確にして, 情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・3Dプリント技術の使用例や今後の課題などについての科学記事 ・事実と意見 ・賛成する, 反対する, 主張する, 理由を述べる, 意見を述べる, 質問する, 説得する, 討論する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考査による関係副詞where, whenに関する事項の理解度の確認【思考力、判断力、表現力等】「環境破壊」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	13
Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad 【知識及び技能】 「時間順序」を表すディスコースマーカーの意味や働きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 難民を救うためにできることについて, 情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている 【主体的に学習に取り組む態度】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・奴隷制度下の人権問題や, ハリエット・タブマンの功績についての伝記 ・ディスコースマーカー「時間順序」 ・説明する, 紹介する, 意見を述べる, 主張する, 提案する, 発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考査にて、多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けているかの理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「食料資源」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	14	
定期考査		○		○				○	○		1	
3 学 期	Lesson 9 English, Always Growing 【知識及び技能】 「列挙」を表すディスコースマーカーの意味や働きを理解している。。 【思考力、判断力、表現力等】 最近新語となった日本語とその意味について, 情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについての論説文 ・ディスコースマーカー「列挙」 ・説明する, 理由を述べる, 推論する, 発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて, 「列挙」を表すディスコースマーカーの理解の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「ディスコースマーカー「列挙」」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認 【学びに向かう力、人間性等】提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	15
	Lesson 10 Understanding the Culture of Dogs 【知識及び技能】 「追加」を表すディスコースマーカーの意味や働きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ペットとして飼うならイヌとネコのどちらがよいかについて, 情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・イヌの習性とその文化についてのエッセイ ・ディスコースマーカー「追加」 ・討論する, 反対する, 主張する, 意見を述べる, 理由を述べる, 質問する, 説得する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による「追加」を表すディスコースマーカーの意味や働きをの理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査にて「文章の展開に注意しながら, 必要な情報を読み取り, 書き手の意図, 概要や要点, 詳細を整理して把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	16
	定期考査		○				○		○	○		1
												合計
												140

高等学校 令和7年度（3学年用）教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭科 目： 家庭総合単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1 組：谷口 ）（ 2 組：谷口 ）（ 3 組： 谷口 ）（ 4 組：谷口 ）（5 組：谷口 ）（ 組： ）

使用教科書：（ 実教出版 家庭総合、2023生活学Navi ）

- 教科 家庭総合の目標：
- 【知識及び技能】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】

さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第1章 これからの人生について考えてみよう 2節 これからの人生をデザインする 【知識及び技能】 ・将来のライフイベントや起こり得るリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人生をデザインするうえで必要な準備を考える。	・指導事項 ①人生設計に必要な要素を理解する。 ②自分の将来とこれからの社会について考えることができるようにする。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・青年期の特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えることができる。	○	○		1
	第2章 自分らしい生き方と家族 1節 自立と共生 【知識及び技能】 ・青年期の特徴について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・男女共同参画社会について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの自分自身と社会のあり方を展望する。	・指導事項 ①自立の種類とそれぞれの具体的な内容を把握する。 ②男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し、どのような青年期を生きるかを考えることができるようにする。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 【思考・判断・表現】 男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、現在とこれからについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会的情勢について興味をもって知ろうとする態度・考える態度がある。	○	○	○	1
	3節 共に生きる家族 【知識及び技能】 ・結婚, 家族・家庭の意義や機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について知り、自信とのかかわりについて考える。	・指導事項 ①「家族」の条件とは何か考える。 ②家族のライフイベントについて考える。 ③家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 ・家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、討論やレポートを通して発表することができる。 ・家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心を持とうとしている。	○	○	○	3
	4節 家族に関する法律 【知識及び技能】 ・家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・法律は自分たち一人ひとりの認識にもとづく社会の要請を受けて検討、改正されていくことを理解する。	・指導事項 ①家族に関する法律の資料を見ながら、考えをまとめて話し合う。 ②家族の抱える問題について学び、具体的なサポートのあり方について考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・家族に関する法律についての知識を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族、家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解をしようとしている。	○		○	3

	第3章 子どもとかかわる 1節 子どもとは 【知識及び技能】 妊娠と青年期について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・育児を学ぶ意義について理解する。 ・10代の健康が、将来生まれてくる子どもにつながっていることを理解する。 ・子どもの世界と出会うことによって、自己理解を深める。	・指導事項 ①青年期の健康を学ぶことで、次世代を担う子どもを育て、はぐくんでいくことの責任感を養う。 ②子どもの感じ方についての例を出しあう。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 青年期の課題や健康についての知識や、それに関連する子育ての知識を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかかわりながら、理解しようとする。 ・生命の尊さについて、自分の現在、将来と結びつけながら、学習しようとする意欲がある。	○		○	3
	2節 子どもの発達 【知識及び技能】 ・子どもの誕生,子どもの心身の発達と特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもは、親や保育者などの身近な大人とのかかわりあいの中で発達していくことを理解する。	・指導事項 ①子どもの発達について考える。 ②子どものからだの成長のようすを学ぶ。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。	○	○		3
	3節 子どもの生活 【知識及び技能】 子どもの生活について成長過程ごとに学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの食生活・衣生活,遊びについて理解を深める。	・指導事項 ①子どもの頃を振り返ることで、基本的生活習慣や社会的生活習慣の身につけ方を学ぶ。 ②子どもの食生活・衣生活,安全管理について学び、子どもとかかわれるようにする。 ③絵本づくりや読み聞かせを通して、子どもの遊びの意義や課題について考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・子どもとの接し方,子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもとふれあう体験学習や,子どものためのおもちゃづくり,お菓子づくりなどの実践活動に、積極的に参加し、子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持とうとしている。	○		○	3
	4節 子どもをはぐくむ 【知識及び技能】 ・子どもを生み、育てる意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもを取り巻く現状を理解し、課題とその解決策を考える。	・指導事項 ①子育て中の親を想像することで、現代の親子にかかわる課題と、解決の方向性を探る。 ②保育所などで実際に子どもとふれあう。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生命の尊さ,子育ての意義について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・子どもとふれあう体験学習や,実践活動などについて、目的の設定,体験学習中の判断や学習後の考察などをまとめることができ、また、体験学習の成果や反省などについて、レポートを通して表現することができる。 ・準備,実施,考察・反省まで、体験学習の一連の学習内容をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	○	○	○	4
	5節 子どものための社会福祉 【知識及び技能】 ・子育てのための国や地域の社会的支援について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの権利と福祉の歩みについて理解する。	・指導事項 ①子どもの発達段階において、子どもをとりまく人とかかわり,地域環境・社会環境の重要性,子どもの福祉について理解できる。 ②・世界の子どもの未来に向けての課題解決の方法を考える ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・子どもの発達段階において、子どもをとりまく人とかかわり,地域環境・社会環境の重要性,子どもの福祉について理解できる 【思考・判断・表現】 ・子どもの生活やとりまく環境,また,現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。	○	○		4
	定期考査			○	○		1
	第4章 高齢者とかかわる 1節 高齢社会に生きる 【思考力、判断力、表現力等】 超高齢社会の課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者,高齢社会への理解を世界の動向からも深める。	・指導事項 ①これまでの高齢者とかかわりを振り返る。 ②高齢社会の現状を知り,身近な問題としてとらえる。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【思考・判断・表現】 ・高齢社会の課題やその解決に向けて,新聞記事などを収集分析し,自分の考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢社会の現状,高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り,高齢者とかかわろうとしている。		○	○	4

2節 高齢者を知る 【知識及び技能】 ・高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者と家族とのかかわり，経済，社会での活躍などを知り，高齢者における生活の課題について考える。	・指導事項 ①高齢者についてのイメージをまとめる。 ②高齢者の生活場면을体験する。 ③高齢者と家族とのかかわり，経済，社会での活躍などを知り，高齢者における生活の課題について考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより，高齢者の自立した生活とは何か，自分の考えをまとめることができる。 ・高齢者へのインタビューなどで高齢者を知り，高齢者とかわることで，高齢社会に関する課題を導き出すことができ，それをレポートなどで表現することができる。	○	○		4
3節 高齢者の自立を支える 【知識及び技能】 ・要介護の高齢者に対して必要な心がけを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活を手助けできる介助の技術を身につける。	・指導事項 ①要介護の高齢者との接し方を考える。 ②高齢期の生活を健康に過ごすための心がけについて考える。 ③日常生活の介助を体験する。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・日常生活の基本的な介助の方法を，介助実習を通して身につけることができる。 ・基礎的な日常生活の介助の方法について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 介助実習においては，積極的に参加し，高齢者の状況を把握しようとしている。	○		○	4
4節 高齢社会を支えるしくみ 【知識及び技能】 ・介護保険制度について理解する。 ・介護をめぐる課題について理解する。	・指導事項 ①高齢者施設での利用者の過ごし方，どんな人が働いているかについてまとめる。 ②介護をめぐる課題の解決にはどのようなことが必要か考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。 ・高齢者の生活における地域社会の役割，地域福祉の重要性について理解できる。	○			3
第5章 社会とかかわる 【知識及び技能】 福祉や社会保障について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 社会の一員として地域で支えあうことについて考える。	・指導事項 ①現在の福祉や社会保障について知る。 ②社会の一員として地域に貢献するにはどのようなことをしたらよいか，なにができるのかを考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・現在の福祉や社会保障について理解している。 ・地域の特色を理解している。 【思考力・判断力。表現力】 社会の一員という自覚を持ち，地域貢献に積極的に参加しようとしている。 地域の特色を理解し，よりよい社会の実現に向けた課題を考え，解決策を模索している。	○	○		2
第8章 住生活をつくる 1節 人間と住まい 【知識及び技能】 ・住まいはどのような機能を持ち，人の生活がその機能とどうかかわっているか理解する。	・指導事項 ①生活と住まいの機能とのかかわりについて考える。 ②気候風土と住まいとの関係，そこでの人間の営みとの関係を考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心を持ち，各地の気候・風土に適した住まいを理解している。	○			3
2節 住まいの文化 【知識及び技能】 ・日本の伝統的な住居の，建築的な工夫や暮らしの工夫を見つける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の住まいの変遷，生活様式などを理解する。	・指導事項 ①和風木造住宅の空間的な特性や工夫をまとめる。 ②現代の暮らしにいかすことができる和の住文化をまとめる。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・日本の住まいの歴史や，日本の住まい方の特徴について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・日本各地の伝統的な住居について，建築的な工夫を見つけることができる。	○	○		3
3節 住まいを計画する 【知識及び技能】 ・平面図の読み方、書き方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ライフステージに合わせた住空間の展開をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ライフステージや住まう人の住欲求によって平面計画が変化することを理解する。 ・住まいの生活空間の機能を理解し，空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。	・指導事項 ①ライフステージによる住まいの変化について考える。 ②快適な住まい方を考え，平面計画を立てる。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・家族構成やライフステージなどとのかわりから，平面図を読み取ることができる。 ・住まいの文化や機能・役割，またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ライフステージと住空間の設計の関係，住宅政策や住環境との関係について考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・住まいの文化や機能，住空間の計画や住環境について関心を持ち，快適な住まいづくり，よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組もうとする。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1

3 学 期	4 節 健康に配慮した快適な室内環境 【知識及び技能】 ・健康的な室内環境をつくるためのさまざまな要素を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・安全で長く住み続けるために必要な適切な管理の方法を理解する。	・指導事項 ①室内環境と健康のかかわりを考える。 ②快適な室内環境について、日照・採光, 通風・換気, 騒音, 冷暖房などの要素を学ぶ。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・日照・日射・採光・照明, 通気・換気, 冷暖房など, 健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。また, 住まいの清掃やメンテナンスについても理解し, 快適な生活につなげることができる。 【思考・判断・表現】 ・住まいの管理方法について, 適切な掃除や頻度を考え, 判断することができる。	○	○		3
	5 節 安全な住まい 【知識及び技能】 ・家庭内事故や災害について学習し, 安全な住まい環境について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な住まい作りについて、課題とその解決策を考察する。	・指導事項 ①災害情報の入手方法, 安全への備えとして必要なことを考える。 ②誰もが安全に住むための工夫を考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・住まいの安全対策, 住まいにおける健康管理など, 実生活に役立てることができる。・ 【思考・判断・表現】 ・安全な住まいづくりや, 快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ, その課題解決のための方策を考えることができる。 ・暮らしやすい住まいについて, 住空間だけでなく, 周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現できる。	○	○		4
	6 節 持続可能な住まいづくり 【知識及び技能】 ・日本の住宅政策の目的を理解する。 ・まちの課題について自分なりに解決策を考えることで, 一市民としてまちづくりに参画する姿勢を持つ。	・指導事項 ①住宅政策の事例について調べ, 住まいの課題を考える。 ②居住問題についての法律・制度・施策を調べる。 ③住まいとエネルギー, まちづくりなどの観点から, 持続可能な住まいとは何か考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・安全で快適な住まいや, 社会環境・地域環境についての知識を身につけ, 現在の住生活の課題についても認識できる。	○			3
	生活設計 【思考力、判断力、表現力等】 ・家庭総合で学んだことを元に, 具体的な人生設計をする。 ・仕事を選ぶうえで, 大事にしたいことは何か考える。	・指導事項 ・家庭総合の2年間の学習を生かして, 自分らしい生き方を設計する。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【思考・判断・表現】 ・精神的な自立, 経済的な自立, 生活的自立, 性的自立に向けて, 家庭総合で学んだ技術や知識を確認し, これからの人生を考え, 設計できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これからの人生に向けて、家庭総合で学んだ知識を活かして設計をしようとしている。		○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校

令和7年度（3学年用）

教科

国語

科目

国語総合演習

教科：国語

科目：国語総合演習

単位数：1 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：佐藤 ） （2組：佐藤） （3組：尾崎） （4組：尾崎） （5組：金子）

使用教科書：（国語必携 パーフェクト演習（三訂版） 尚文社 ）

- 教科 国語
- の目標：
- 【知識及び技能】進路実現に向けて、語彙や国語常識的な知識を伸長させる。
- 【思考力、判断力、表現力等】進路実現に向けて自己の良さを見つめ直し、それを文章表現できるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】時事問題に目を向け、自分なりの解決方法を模索できるようにする。

科目 国語総合演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
進学や就職を志すにふさわしい語彙能力と国語常識力を伸長させ、小テストによって達成度を確かめる。	進路実現に向けて、自己の良さや今までの達成度を文章化できるようにする。また、添削を通して達成度を実感する。	社会で今何が起きているのかを把握し、未来がどうなるのかを想像できるようにする。さらに、それらを正しく文章表現できるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元 「自己表現について知る」 【知識及び技能】小テストを実施し、学習の達成度を確認する。達成できない場合には復習する。 【思考力、判断力、表現力等】動画視聴をもとに、自己の良さやPRポイントを見つけ、それらをまとめた量の文章にできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】時事問題に関する問題を解き、さらに記述ができるようにする。	・参考動画、付属ワークシート ・一人1 台端末の活用(ワードで記述し、提出する)		○		・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・動画をしっかりと視聴し、ワークシートの要点を記入している。 ・自己のPRポイントについてまとめた文章量が書けている。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	3
	単元 「SDG s」 【知識及び技能】SDG s に関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】SDG s に関して自身に最も関心のある項目を選択し、そのことについて正しく記述する。 【学びに向かう力、人間性等】SDG s に関して自身に最も関心のある項目を選択し、そのことに関して自身の考えを述べることができるようにする。	・参考文献 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用(調べ学習)		○		・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・一人1 台端末を活用した調べ学習を行い、ワークシートの要点を記入している。 ・SDG s についてまとめた文章量が書けており、さらに自分の意見を述べる事ができています。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	3
	定期考査	実施せず								
	単元「論理的な文章を書く」 【知識及び技能】国語常識に関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】課題文に対する「反論」と「その根拠」について記述する。 【学びに向かう力、人間性等】課題文に書かれていることについて調べ学習を行いワークシートにまとめる。	・課題文 ・ワークシート ・一人1 台端末の活用（調べ学習）		○		・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・一人1 台端末を活用した調べ学習を行い、ワークシートの要点を記入している。 ・課題文に対する反論についてまとめた文章量が書けており、さらに自分の意見を述べる事ができています。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	4
	単元「自己課題を見つける」 【知識及び技能】国語常識に関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】新聞記事から自己の進路に関係ありそうな項目を選び、ワークシートにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】新聞記事から自身の進路に紐づけられる項目を模索し、ワークシートにまとめる。	・ワークシート ・新聞記事 ・図書室との連携 ・一人1 台端末の活用		○		・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・新聞記事を活用した調べ学習を行い、ワークシートの要点を記入している。 ・自己の進路についてのまとめた文章量が書けており、さらに自分の意見を述べる事ができています。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	3
	定期考査	実施せず								

2 学 期	単元「環境問題」 【知識及び技能】 国語常識に関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 環境問題に関する自分の考えを文章にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 新聞記事から自身の進路に紐づけられる項目を模索し、ワークシートにまとめる。	・ワークシート ・図書室との連携 ・一人1台端末の活用			○	・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・調べ学習を行い、ワークシートの要点を記入している。 ・自己の進路についてのまとめた文章量が書けており、さらに自分の意見を述べている。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	7
	単元「プレゼンテーション」 【知識及び技能】 国語常識に関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の進路に関わる事項について、PowerPointを作成し、発表原稿を作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 インターネットや書籍から自己の進路に関する項目を調べてワークシートにまとめる。	・ワークシート ・図書室との連携 ・一人1台端末の活用	○			・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・調べ学習を行い、ワークシートの要点を記入している。 ・発表原稿についてまとめた文章量が書けており、さらに自分の意見を述べている。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	7
3 学 期	単元「終論文を書く」 【知識及び技能】 国語常識に関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】 1年間調べてきたことをポスターにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 1年間調べてきたことを論文にまとめる。	・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・掲示したときに見やすいようにポスターにまとめている。 ・調べてきたことに関し、1800字の論文をMicrosoftのWord機能で書くことができる。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	8
										合計
										35

足立西 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学演習

教 科： 数学科 目： 数学演習

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組～ 5 組

教科担当者：（古賀 ） （ 島村 ）

使用教科書： 数学ⅠStandard（東京書籍）、数学ⅡStandard（東京書籍）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力，論理的に考察し表現する力，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，適切な手法を選択して考察を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力，論理的に考察し表現する力，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 数学Ⅰ・A（approach） 【知識及び技能】 数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 数学Ⅰ・A（approach） ・教材 ○リンク数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C a+b+c（数研出版） ○一人1台端末 ・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト，課題配信	【知識・技能】 各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考・判断・表現】 各単元において数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力，論理的に考察しできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	B 数学Ⅱ・B（approach） 【知識及び技能】 いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	・指導事項 数学Ⅱ・B（approach） ・教材 ○リンク数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C a+b+c（数研出版） ○一人1台端末 ・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト，課題配信	【知識・技能】 各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考・判断・表現】 各単元において数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力，論理的に考察しできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めている。				

	【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 数学Ⅰ・A (basic) 【知識及び技能】 数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 数学Ⅰ・A (basic) ・教材 ○リンク数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C a+b+c (数研出版) ○一人1台端末 ・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト，課題配信	【知識・技能】 各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考・判断・表現】 各単元において数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力，論理的に考察しできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	B 数学Ⅱ・B (basic) 【知識及び技能】 いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	・指導事項 数学Ⅱ・B (basic) ・教材 ○リンク数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C a+b+c (数研出版) ○一人1台端末 ・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト，課題配信	【知識・技能】 各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考・判断・表現】 各単元において数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力，論理的に考察しできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めている。	○	○	○	20

	【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。						
	定期考査			○	○	1	
3 学 期	A 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B（補充問題） 【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力，論理的に考察し表現する力，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B（補充問題） ・教材 ○リンク数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C a+b+c（数研出版） ○一人1台端末 ・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト，課題配信	【知識・技能】 各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考・判断・表現】 各単元において数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力，論理的に考察しできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めている。	○	○	○	24

高等学校 令和7年度（3 学年用）

教科 総合的な探究の時間

科目 総合的な探究の時間

教科 科： 総合的な探究の時間

科 目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1 組：林 大輔）（2 組：尾崎 菜香子）（3 組：安部 孝佳）（4 組：西村 幸也）（5 組：岩葉 拓也）

使用教科書：（ なし ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

- 【知識及び技能】探究の過程において、課題発見と課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、フィールドワーク等を活用し情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、自分の未来を考えようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、その解決に向けて必要な知識や技能を身に付ける。	社会的現実にはらし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会の関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度とよりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	「総合的な探究の時間」を学ぶにあたって 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法を理解する。	オリエンテーション ・「総合的な探究の時間」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・「総合的な探究の時間」を学ぶために学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法を理解しようとする。			○	1
	自分の進路を考える① 【知識・技能】 ・希望進路の学問における現状や課題を見つける。 【思考力、判断力、表現力】 ・希望進路の学問における課題を多角的な視点から考える。 【主体的な学習に取り組む態度】 ・希望進路の学問における課題を見出し、解決策を考える。	・希望進路における学問の実態や現状を調べる。 ・希望進路の未来について考え、今の自分たちには何ができるか考える。	【知識・技能】 ・希望進路の学問における現状を把握し、課題を見つけることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・希望進路の学問における課題を多角的な視点から考えることができる。 【主体的な学習に取り組む態度】 ・希望進路の学問における課題を見出し、解決策を考えることができる。	○	○	○	12
	自分の進路を考える② 【知識・技能】 ・自分の進路実現に向けて必要なことを考え、理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・他者にわかりやすいように発表する。 ・自分が立てた問いに対し、多角的な視点から解決に導く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進路実現に向け、多角的な視点から考える。	・フィールドワークや文献などの調査結果をパワーポイントにまとめる。 ・中間発表を実施する。 ・学年発表を通して、多種多様な進路実現について共有する。	【知識・技能】 ・自分や周囲の状況を分析し、問いを立てることができる。 【思考・判断・表現】 ・希望進路の実現に向けて、多角的に考えることができる。 ・実社会や実生活と自己のかかわりから問いを見出し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進路実現について考え、自分の考えや思いを相手に伝わりやすく発信しようとする。	○	○	○	5
2 学期	自分の進路と社会の実情① 【知識及び技能】 自分の進路と社会の実情から問題点や改善点を見出す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者にわかりやすいように発表することができる。 ・自分が立てた問いに対し、多角的な視点から解決に導く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の進路に関係する職種・職業の未来がより良くなるように、多角的な視点から考える。	・フィールドワークや文献などの調査結果をパワーポイントにまとめる。 ・中間発表を実施する。	【知識及び技能】 ・自分の進路と社会の実情から問題点や改善点を見出す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者にわかりやすいように発表する。 ・自分が立てた問いに対し、多角的な視点から解決に導く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の進路に関係する職種・職業の未来がより良くなるように、多角的な視点から考えようとする。	○	○	○	9
3 学期	自分の進路と社会の実情② 【知識及び技能】 ・自分の進路に関係する職種・職業の未来について調べ、考える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者にわかりやすいように発表する。 ・自分が立てた問いに対し、多角的な視点から解決に導く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の進路に関係する職種・職業の未来がより良くなるように、多角的な視点から考える。	・希望進路に関係する職種・職業の実態を知る。 ・希望進路に関係する職種・職業の未来について考える。	【知識及び技能】 ・自分の進路に関係する職種・職業の未来について調べることができる。 ・自分の進路に関係する職種・職業の未来について考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者にわかりやすいように発表することができる。 ・自分が立てた問いに対し、多角的な視点から解決に導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の進路に関係する職種・職業の未来がより良くなるように、多角的な視点から考えることができる。	○	○	○	8
							合計
							35